

# 平成14年福島県鉱工業指数の動向

## 1 鉱工業の動向

### (1) 概況

#### ア 年別推移

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、93.0で前年比1.0%低下し、出荷指数は94.3で同0.3%、在庫指数は117.6で同0.3%とそれぞれ上昇した。生産指数は2年連続で低下し、出荷指数は2年ぶりに上昇し、在庫指数は3年連続で上昇した（表1）。

また、平成14年の季節調整済指数の動きをみると、生産指数、出荷指数は緩やかな上昇傾向で推移した。在庫指数は前半は一進一退、後半は上昇傾向で推移した（表2）。

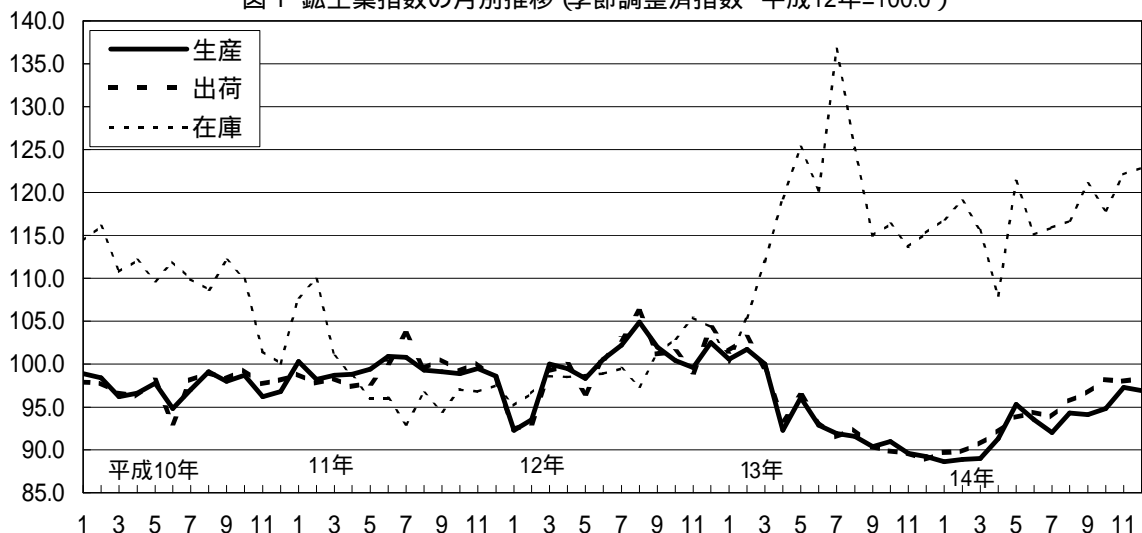
表1 鉱工業指数の年別推移 (平成12年=100.0 原指数)

	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	97.4	3.5	97.6	1.9	109.7	1.9
平成11年	99.1	1.7	99.1	1.5	98.5	10.2
平成12年	100.0	0.9	100.0	0.9	100.0	1.5
平成13年	93.9	6.1	94.0	6.0	117.2	17.2
平成14年	93.0	1.0	94.3	0.3	117.6	0.3

表2 鉱工業指数の月別推移 (季節調整済指数 平成12年=100.0)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		平成10年	生産	98.9	98.4	96.2	96.6	97.8	94.8	97.0	99.1	98.0	98.7
	出荷	97.9	97.8	96.6	96.3	98.1	93.1	98.1	99.0	98.3	99.3	97.7	98.1
	在庫	114.4	116.1	110.8	112.1	109.7	111.9	109.9	108.7	112.1	109.9	101.5	100.1
平成11年	生産	100.3	98.2	98.7	98.8	99.4	100.9	100.8	99.3	99.1	98.9	99.5	98.6
	出荷	98.8	97.8	98.3	97.4	97.8	100.2	103.5	99.5	100.5	99.2	100.1	98.1
	在庫	107.8	109.9	100.9	98.6	96.0	96.0	93.0	96.6	94.5	97.0	96.8	97.5
平成12年	生産	92.3	93.5	100.0	99.5	98.3	100.6	102.2	104.9	102.0	100.4	99.6	102.5
	出荷	92.4	93.1	99.2	99.9	96.6	100.7	102.9	106.1	101.2	101.4	99.1	104.2
	在庫	95.2	96.6	98.6	98.5	98.7	98.9	99.5	97.4	101.2	103.0	105.4	104.3
平成13年	生産	100.6	101.7	100.0	92.3	96.1	92.9	91.9	91.6	90.4	91.0	89.6	89.2
	出荷	101.5	103.1	99.6	93.5	96.3	93.3	91.5	92.4	90.4	89.9	89.6	88.9
	在庫	100.2	105.4	112.0	119.3	125.3	120.2	136.7	125.2	115.0	116.3	113.7	115.3
平成14年	生産	88.6	88.9	89.0	91.3	95.3	93.5	92.0	94.3	94.1	94.8	97.3	96.9
	出荷	89.7	89.8	90.7	92.1	93.8	94.4	93.9	95.7	96.6	98.2	98.0	98.3
	在庫	116.9	119.0	115.6	108.0	121.3	115.1	115.9	116.7	121.0	117.9	122.1	122.9

図1 鉱工業指数の月別推移 (季節調整済指数 平成12年=100.0)



イ 四半期別推移

平成14年の生産指数(季節調整済指数)四半期別前期比(以下順に「1期(1~3月期)」、「2期(4~6月期)」、「3期(7~9月期)」、「4期(10~12月期)」という。)は、1期に平成13年1期から4期連続の低下となったものの、2期、3期、4期に上昇したため、全体では緩やかな上昇傾向で推移した。

出荷は、1期に平成12年1期以来の6期ぶりに上昇となり、年間を通じて緩やかな上昇傾向で推移した。

在庫は、1期に上昇した後、2期で低下し、3期、4期で緩やかに上昇した(表3)。

また、生産指数(原指数)四半期別前年同期比は、1期、2期で下回ったものの、3期、4期では上回った(表4)。

表3 四半期指数及び対前期上昇率(季節調整済指数 平成12年=100.0)

年	項目	1期	2期	3期	4期	対前期上昇率	対前期上昇率	対前期上昇率	対前期上昇率
		指数	指数	指数	指数	(%)	(%)	(%)	(%)
平成10年	生産	97.8	96.4	98.0	97.2	2.5	1.4	1.7	0.8
	出荷	97.4	95.8	98.5	98.4	1.4	1.6	2.8	0.1
	在庫	113.8	111.2	110.2	103.8	0.4	2.3	0.9	5.8
平成11年	生産	99.1	99.7	99.7	99.0	2.0	0.6	0.0	0.7
	出荷	98.3	98.5	101.2	99.1	0.1	0.2	2.7	2.1
	在庫	106.2	96.9	94.7	97.1	2.3	8.8	2.3	2.5
平成12年	生産	95.3	99.5	103.0	100.8	3.7	4.4	3.5	2.1
	出荷	94.9	99.1	103.4	101.6	4.2	4.4	4.3	1.7
	在庫	96.8	98.7	99.4	104.2	0.3	2.0	0.7	4.8
平成13年	生産	100.8	93.8	91.3	89.9	0.0	6.9	2.7	1.5
	出荷	101.4	94.4	91.4	89.5	0.2	6.9	3.2	2.1
	在庫	105.9	121.6	125.6	115.1	1.6	14.8	3.3	8.4
平成14年	生産	88.8	93.4	93.5	96.3	1.2	5.2	0.1	3.0
	出荷	90.1	93.4	95.4	98.2	0.7	3.7	2.1	2.9
	在庫	117.2	114.8	117.9	121.0	1.8	2.0	2.7	2.6

前期比(%) 図2 四半期別前期比及び四半期指数(季節調整済指数 平成12年=100.0) 四半期指数

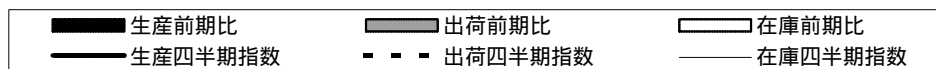
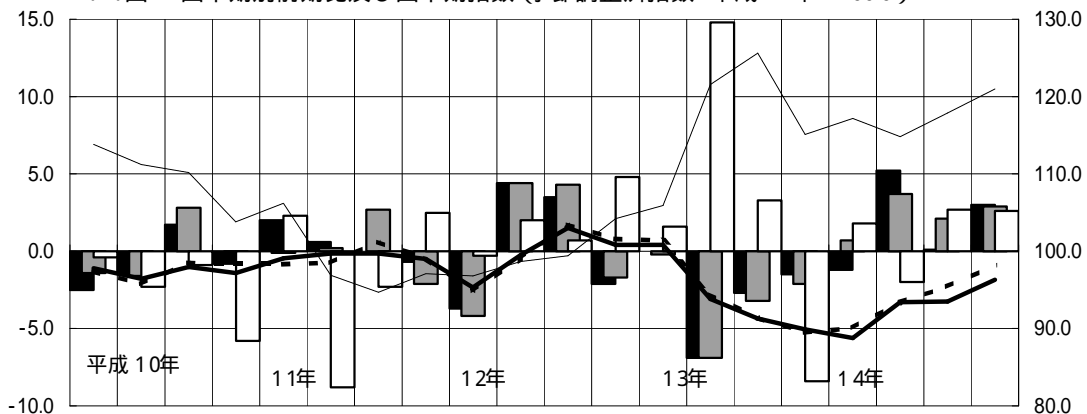
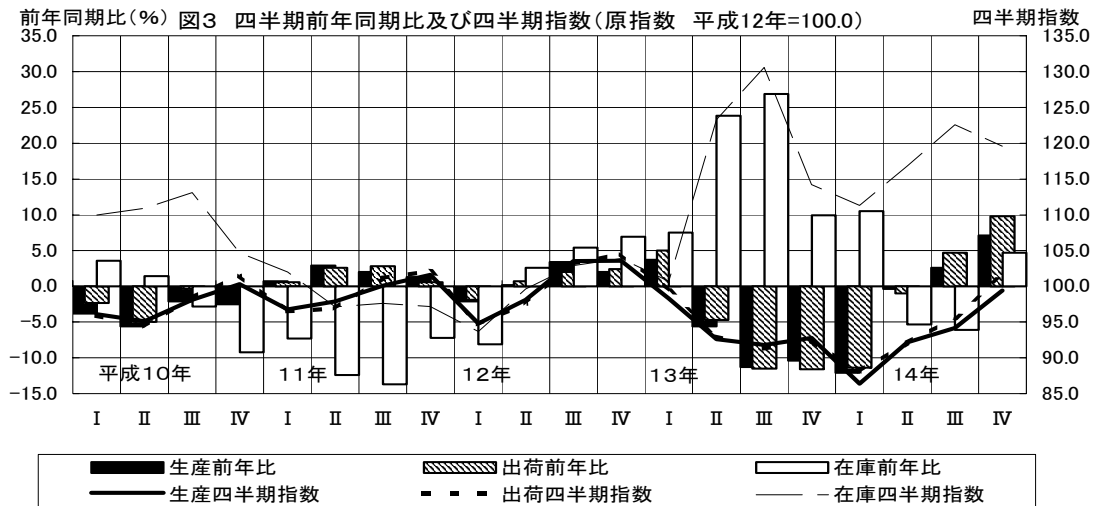


表4 四半期指数及び対前年同期上昇率(原指数 平成12年=100.0)

年	項目	1期	2期	3期	4期	対前年同期上昇率	対前年同期上昇率	対前年同期上昇率	対前年同期上昇率
		指数	指数	指数	指数	(%)	(%)	(%)	(%)
平成10年	生産	96.1	95.1	98.1	100.3	3.8	5.6	2.1	2.5
	出荷	95.9	94.4	98.4	101.5	2.3	5.0	0.4	0.0
	在庫	110.0	110.9	113.1	104.7	3.6	1.4	2.8	9.2
平成11年	生産	96.8	97.9	100.1	101.6	0.7	2.9	2.0	1.3
	出荷	96.5	96.9	101.2	102.1	0.6	2.6	2.8	0.6
	在庫	102.0	97.1	97.6	97.2	7.3	12.4	13.7	7.2
平成12年	生産	94.8	98.1	103.5	103.6	2.1	0.2	3.4	2.0
	出荷	94.7	97.6	103.2	104.5	1.9	0.7	2.0	2.4
	在庫	93.7	99.6	102.9	103.9	8.1	2.6	5.4	6.9
平成13年	生産	98.3	92.6	91.8	92.8	3.7	5.6	11.3	10.4
	出荷	99.4	93.0	91.3	92.4	5.0	4.7	11.5	11.6
	在庫	100.7	123.3	130.6	114.2	7.5	23.8	26.9	9.9
平成14年	生産	86.4	92.2	94.2	99.4	12.1	0.4	2.6	7.1
	出荷	88.1	92.1	95.6	101.5	11.4	1.0	4.7	9.8
	在庫	111.3	116.8	122.6	119.6	10.5	5.3	6.1	4.7

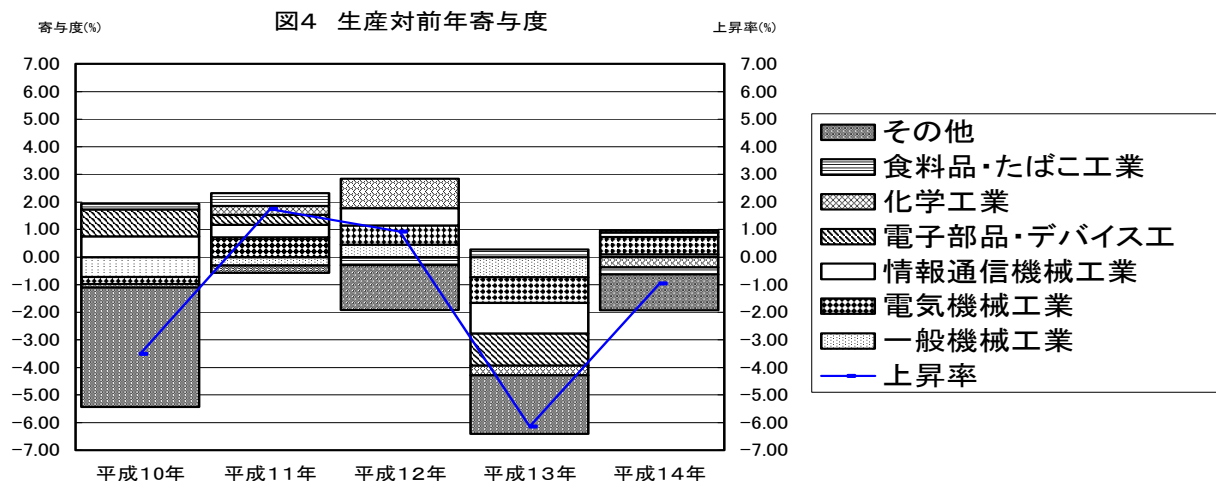


## ウ 業種別概況

生産指数(原指数年平均)では、電気機械工業が前年比 12.1%、プラスチック製品工業が同 8.1%、鉄鋼業が同 3.8%、その他製品工業が同 3.4%など9業種で上昇したものの、金属製品工業が前年比 22.6%、精密機械工業が同 11.9%、木材・木製品工業が同 7.2%、窯業・土石製品工業が同 4.0%など10業種で低下したため、全体として 1.0%低下した(表5)。

表5 業種別年別生産寄与度及び原指数の対前年上昇率

業種	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	14年上昇率
鉱工業	△3.5	1.7	0.9	△6.1	△1.0	△1.0
製造工業	△3.5	1.7	0.9	△6.1	△1.0	△1.0
鉄鋼業	△0.1	△0.1	0.1	△0.0	0.0	3.8
非鉄金属工業	△0.3	0.0	0.1	△0.1	△0.0	△0.9
金属製品工業	△0.8	△0.2	△0.1	△0.6	△1.1	△22.6
一般機械工業	△0.7	△0.3	0.4	△0.7	0.1	1.7
電気機械工業	△0.2	0.7	0.7	△0.9	0.6	12.1
情報通信機械工業	0.8	0.5	0.6	△1.1	0.2	1.2
電子部品・デバイス工業	1.0	0.4	△0.0	△1.2	0.1	0.7
輸送機械工業	△0.3	0.2	0.5	0.0	△0.0	△0.7
精密機械工業	0.6	△0.2	△0.7	0.1	△0.4	△11.9
窯業・土石製品工業	△0.5	0.2	0.1	△0.3	△0.2	△4.0
化学工業	△0.1	0.3	1.1	△0.4	△0.4	△2.7
プラスチック製品工業	△0.9	△0.6	△0.1	△0.3	0.4	8.1
パルプ・紙・紙加工品工業	△0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	2.2
繊維工業	△0.4	△0.3	△0.4	△0.3	△0.1	△2.4
食料品・たばこ工業	0.2	0.5	△0.3	0.3	△0.3	△1.5
その他工業	△1.7	0.7	△1.3	△0.5	0.1	1.1
ゴム、皮革製品工業	△1.4	0.8	△1.5	△0.0	0.0	1.1
木材・木製品工業	0.1	△0.1	0.1	△0.3	△0.1	△7.2
その他製品工業	△0.4	0.1	0.1	△0.2	0.1	3.4
鉱業	△0.0	△0.0	0.0	△0.0	△0.0	△4.8

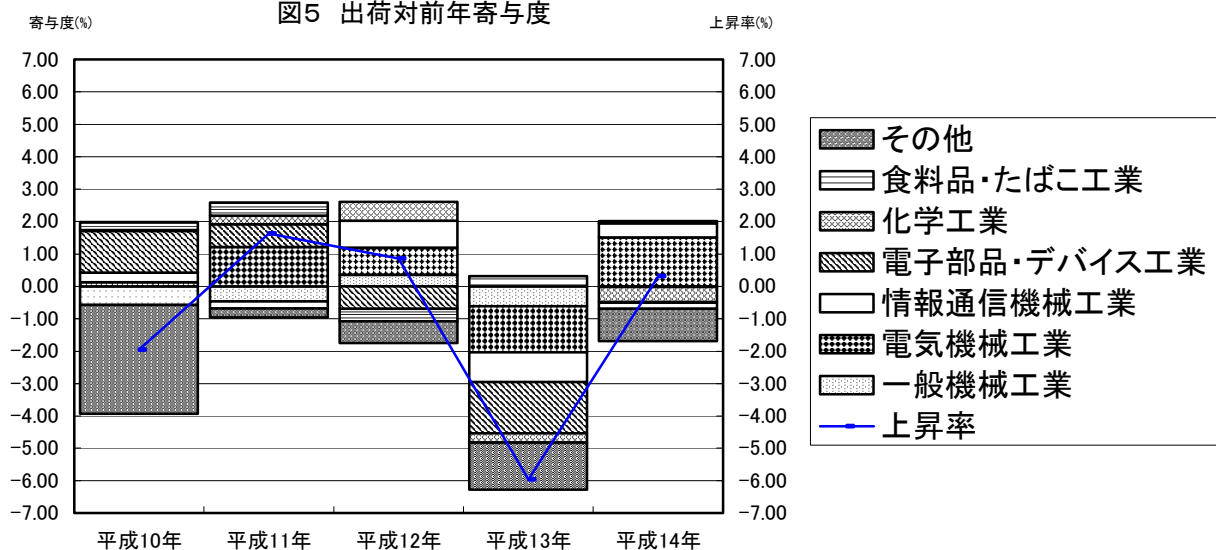


出荷では、金属製品工業が前年比 28.8%、木材・木製品工業が同 13.7%、精密機械工業が同 8.8%、化学工業が同 5.1%など 12 業種で低下したものの、電気機械工業が前年比 25.2%、プラスチック製品工業が同 8.3%、その他製品工業が同 6.6%、パルプ・紙・紙加工品工業が同 3.1%など 7 業種で上昇したため、全体として 0.3%上昇した（表 6）。

表6 業種別年別出荷寄与度及び原指数の対前年上昇率

業 種	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	14年上昇率
鉱工業	△2.0	1.6	0.9	△6.0	0.3	0.3
製造工業	△0.7	1.1	1.6	△6.1	0.3	0.3
鉄鋼業	△0.3	△0.1	0.1	△0.1	△0.0	△4.5
非鉄金属工業	△0.3	0.0	0.1	△0.1	△0.0	△0.6
金属製品工業	△0.6	△0.2	△0.1	△0.7	△1.1	△28.8
一般機械工業	△0.6	△0.5	0.4	△0.6	△0.0	△0.5
電気機械工業	0.1	1.2	0.8	△1.4	1.5	25.2
情報通信機械工業	0.3	△0.2	0.8	△0.9	0.4	2.5
電子部品・デバイス工業	1.3	0.7	△0.7	△1.6	0.1	0.6
輸送機械工業	△0.4	0.2	0.6	△0.0	△0.1	△1.1
精密機械工業	0.6	△0.4	△0.6	0.0	△0.2	△8.8
窯業・土石製品工業	△0.2	0.2	0.1	△0.4	0.1	3.0
化学工業	0.0	0.3	0.6	△0.3	△0.5	△5.1
プラスチック製品工業	△0.8	△0.5	0.1	△0.2	0.3	8.3
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	3.1
繊維工業	△0.2	△0.2	△0.2	△0.2	△0.1	△3.3
食料品・たばこ工業	0.2	0.4	△0.4	0.3	△0.2	△1.3
その他工業	△1.2	0.6	△0.8	0.1	0.0	0.3
ゴム、皮革製品工業	△0.9	0.6	△1.0	0.6	△0.0	△1.0
木材・木製品工業	0.1	△0.0	0.1	△0.3	△0.1	△13.7
その他製品工業	△0.5	0.0	0.1	△0.2	0.2	6.6
鉱業	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.6

図5 出荷対前年寄与度

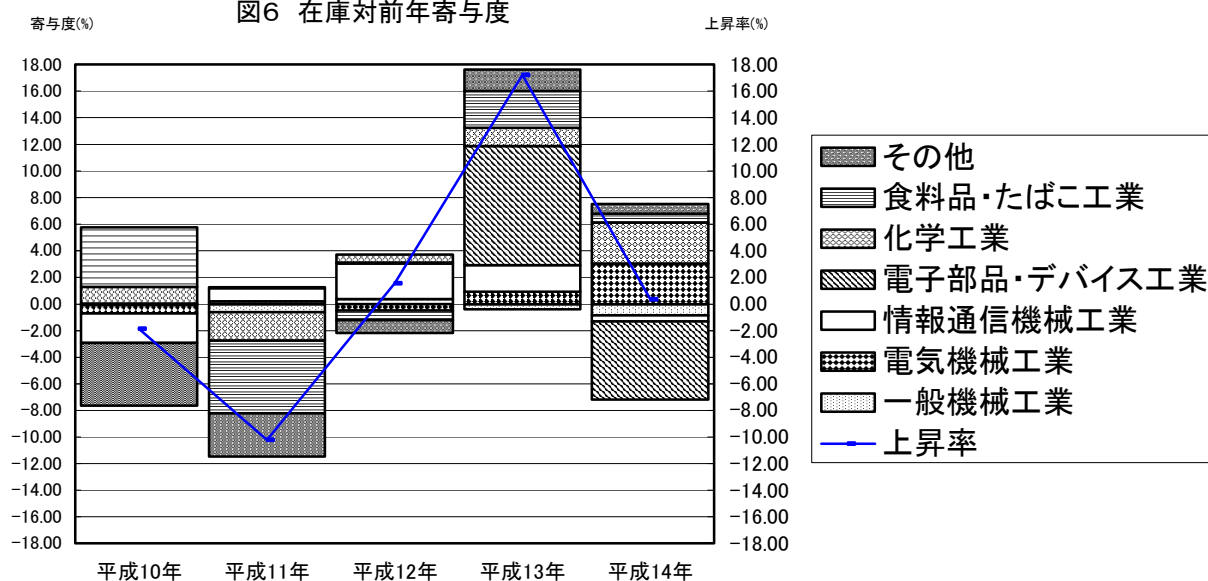


在庫では、電子部品・デバイス工業が前年比 42.6%、輸送機械工業が同 34.3%、金属製品工業が同 31.6%、一般機械工業が同 24.7%など7業種で低下したものの、木材・木製品工業が前年比 52.3%、電気機械工業が同 46.5%、プラスチック製品工業が同 28.0%、精密機械工業が同 25.7%など12業種で上昇したため、全体として0.3%上昇した(表7)。

表7 業種別年別在庫寄与度及び原指数の対前年上昇率

業種	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	14年上昇率
鉱工業	△1.9	△10.2	1.5	17.2	0.3	0.3
製造工業	△1.4	△9.0	2.3	17.8	△0.3	0.3
鉄鋼業	0.1	△0.1	0.0	0.0	0.0	1.7
非鉄金属工業	0.2	△0.5	0.3	0.5	0.2	11.4
金属製品工業	△0.7	0.3	0.4	△0.2	△0.9	△31.6
一般機械工業	△0.1	△0.6	0.4	△0.4	△0.8	△24.7
電気機械工業	△0.6	0.2	△0.5	0.9	3.0	46.5
情報通信機械工業	△2.2	1.0	2.7	2.0	△0.5	△2.6
電子部品・デバイス工業	0.0	0.1	0.1	8.9	△5.9	△42.6
輸送機械工業	△3.6	△0.4	0.1	1.0	△1.1	△34.3
精密機械工業	△0.1	0.1	0.6	0.6	0.6	25.7
窯業・土石製品工業	0.5	△1.8	△0.8	0.7	0.1	1.8
化学工業	1.3	△2.2	0.6	1.4	3.1	17.9
プラスチック製品工業	△0.6	0.4	△0.9	△0.5	1.0	28.0
パルプ・紙・紙加工品工業	△0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	1.6
繊維工業	△0.1	△0.2	△0.1	△0.1	0.1	5.4
食料品・たばこ工業	4.5	△5.4	△0.7	2.8	0.7	3.9
その他工業	△0.4	△1.2	△0.7	△0.6	0.7	13.9
ゴム、皮革製品工業	0.1	0.0	△0.0	△0.0	0.1	6.4
木材・木製品工業	0.1	0.3	△0.5	△0.5	0.6	52.3
その他製品工業	△0.5	△1.6	△0.1	△0.0	△0.0	△0.3
鉱業	0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△0.0	△55.7

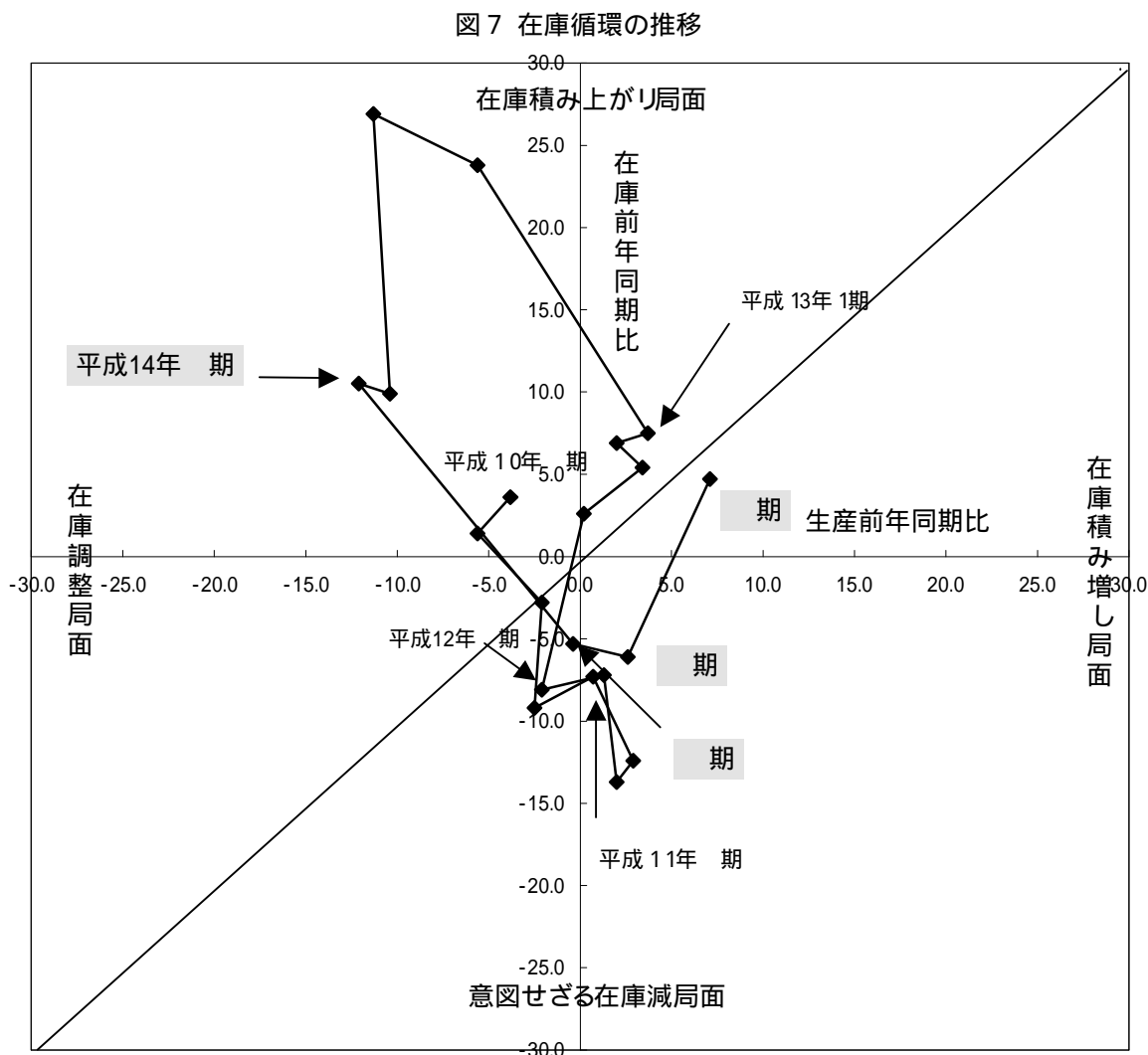
図6 在庫対前年寄与度



## エ 在庫循環の推移

生産と在庫の関係を見ると、生産は前年同期比で平成12年 期から4期連続で上昇した後、平成13年 期から5期連続で低下し、平成14年 期から再び上昇に転じた。一方、在庫は前年同期比で平成12年 期以降8期連続で上昇した後、平成14年 期に低下に転じ、 期に再び上昇した。

このため、平成14年は「在庫調整局面」から「意図せざる在庫減局面」を経て「在庫積み増し局面」へと推移した（図7）。



意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)	需要が回復し、出荷が増加し始めるが、生産は停滞しており、在庫は減少する。
在庫積み増し局面 (景気拡大期)	生産、出荷とも好調に推移し、減少していた在庫も積み増される。
在庫積み上がり局面 (景気後退初期)	生産に比べ、出荷が減少し始め、在庫が積み増される。
在庫調整局面 (景気後退期)	生産を調整することによって、在庫が減少する。

(2) 業種別の動向

ア 鉄鋼業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、99.4で前年比3.8%上昇し、出荷指数は89.7で同4.5%と低下し、在庫指数は105.5で同1.7%上昇した(表8)。

品目別で見ると、生産は、銑鉄鋳物、普通鋼鋼管、鍛工品など5品目が上昇し、磨棒鋼・線類、可鍛鋳鉄、特殊鋼鋼管など4品目が低下した。

出荷は、銑鉄鋳物、普通鋼鋼管、鍛工品など4品目が上昇し、鋳鋼品、可鍛鋳鉄、磨棒鋼・線類など5品目が低下した。

在庫は、磨棒鋼・線類、鋳鋼品が上昇し、普通鋼鋼管、銑鉄鋳物、特殊鋼鋼管が低下した。

表8 鉄鋼業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

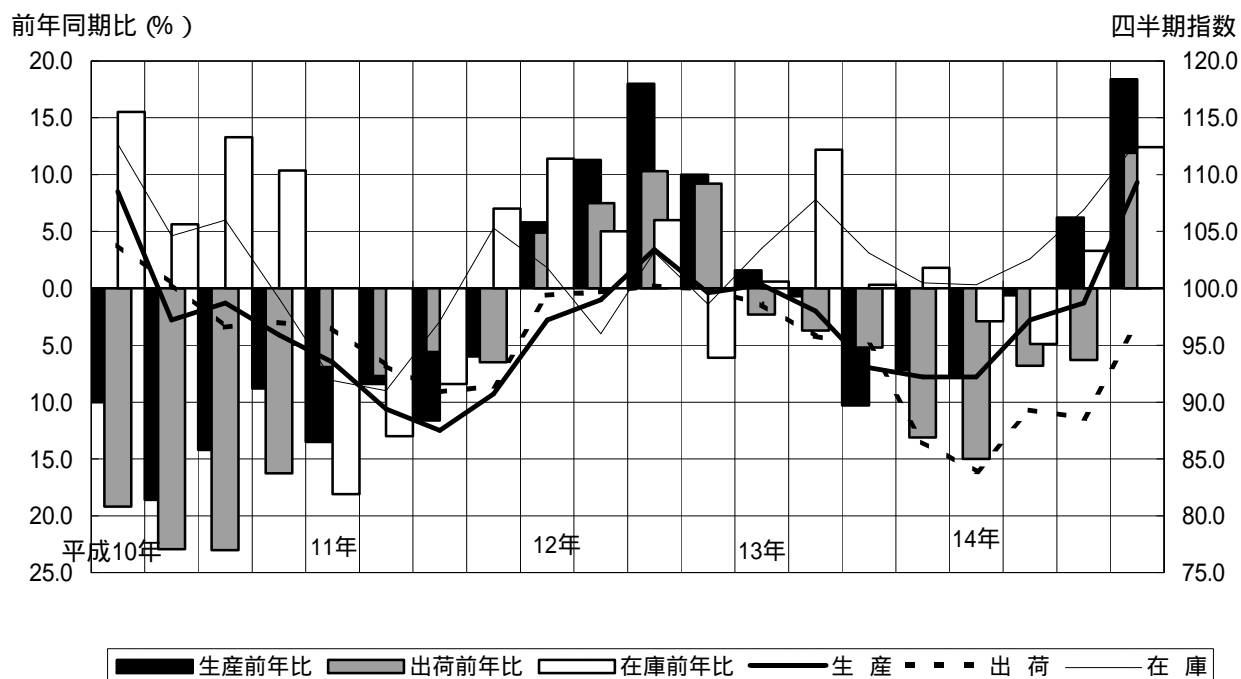
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比 (%)	年平均指数	前年比 (%)	年平均指数	前年比 (%)
平成10年	99.9	13.1	99.3	20.4	105.5	11.1
平成11年	90.0	9.9	92.7	6.7	96.3	8.7
平成12年	100.0	11.1	100.0	8.0	100.0	3.8
平成13年	95.8	4.2	93.9	6.1	103.7	3.7
平成14年	99.4	3.8	89.7	4.5	105.5	1.7

表9 鉄鋼業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	108.5	97.2	98.7	95.9	93.5	89.4	87.5	90.7	97.2	99.0	103.4	99.6	100.3	98.0	93.0	92.2	92.2	97.2	98.7	109.3
出荷	103.8	100.4	96.6	97.0	96.5	93.2	90.9	91.4	99.4	99.7	100.2	99.9	98.6	95.8	95.0	86.5	83.9	89.3	88.6	96.9
在庫	112.7	104.6	106.0	99.1	91.9	91.0	97.1	105.3	101.8	96.0	103.2	98.6	103.5	107.8	103.1	100.5	100.3	102.6	106.9	112.9
生産前年比	10.0	18.6	14.2	8.8	13.5	8.4	11.6	6.0	5.8	11.3	18.0	10.0	1.6	0.7	10.3	7.2	7.8	0.6	6.2	18.4
出荷前年比	19.2	22.9	23.0	16.3	6.9	7.7	5.6	6.5	4.9	7.5	10.3	9.2	2.3	3.7	5.2	13.1	15.0	6.8	6.3	11.9
在庫前年比	15.5	5.6	13.3	10.3	18.1	13.0	8.4	7.0	11.4	5.0	6.0	6.1	0.6	12.2	0.3	1.8	2.9	4.9	3.3	12.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図8 鉄鋼業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## イ 非鉄金属工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、94.2で前年比 0.9%、出荷指数は95.6で同 0.6%それぞれ低下し、在庫指数は140.4で同11.4%上昇した（表10）。

品目別でみると、生産は、アルミニウム鍛工品、伸銅製品、銅ケーキ・ビレットなど5品目が上昇し、銅線、ダイカスト、電気銅など5品目が低下した。

出荷は、アルミニウム鍛工品、伸銅製品、銅ケーキ・ビレットなど5品目が上昇し、銅線、ダイカスト、電気銅など5品目が低下した。

在庫は、伸銅製品、アルミニウム系二次地金が上昇し、電気銅、銅線、銅ケーキ・ビレットなど4品目が低下した。

表10 非鉄金属工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

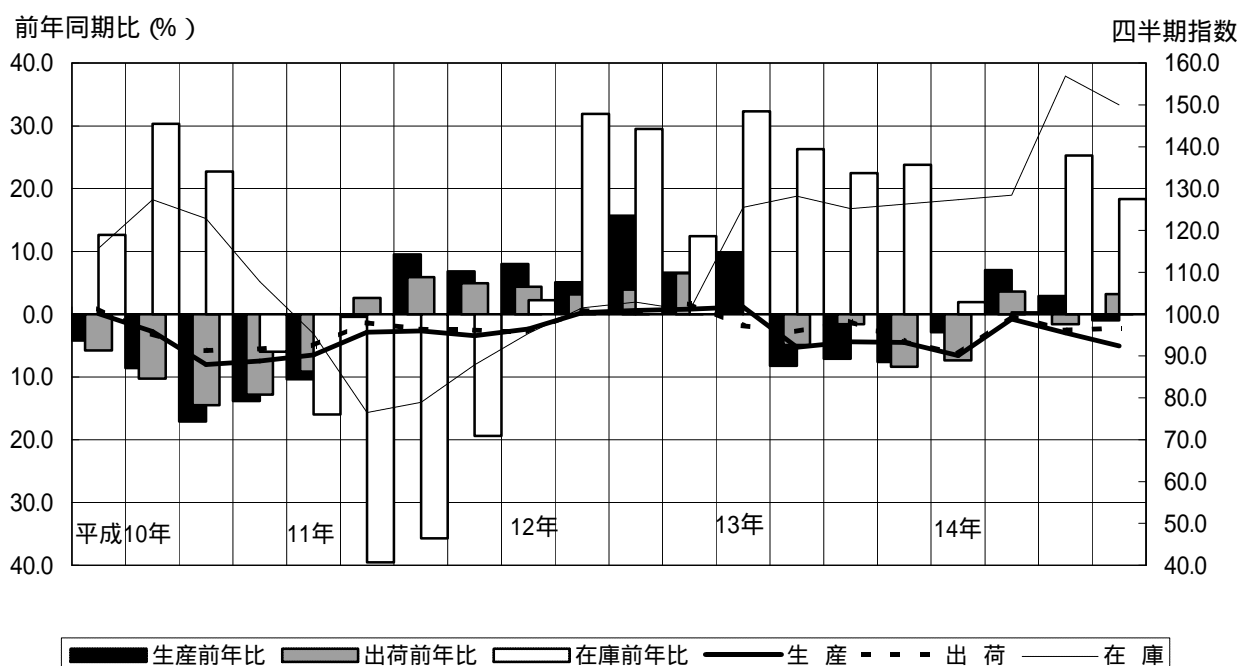
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	93.2	11.0	95.0	10.8	118.4	14.6
平成11年	94.1	1.0	95.7	0.7	84.3	28.8
平成12年	100.0	6.3	100.0	4.5	100.0	18.6
平成13年	95.1	4.9	96.2	3.8	126.0	26.0
平成14年	94.2	0.9	95.6	0.6	140.4	11.4

表11 非鉄金属工業四半期別指数及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
生産	100.1	95.8	88.0	88.8	90.2	95.7	96.0	94.9	96.5	100.3	100.9	101.2	101.7	92.1	93.4	93.3	90.1	98.8	95.5	92.4
出荷	101.3	95.3	91.3	91.7	92.5	97.9	96.4	96.2	95.8	100.8	100.3	102.4	97.3	95.9	98.3	93.5	90.5	99.6	96.2	96.6
在庫	115.7	127.3	122.8	107.8	95.3	76.5	78.9	87.9	95.4	101.5	102.9	100.9	125.5	128.2	125.2	126.3	127.3	128.4	156.9	150.0
生産前年比	4.2	8.6	17.1	13.8	10.4	0.4	9.5	6.8	8.0	5.1	15.7	6.6	9.8	8.2	7.1	7.6	2.9	7.0	2.9	1.0
出荷前年比	5.8	10.3	14.5	12.8	9.1	2.6	5.9	4.9	4.4	3.1	3.9	6.5	0.0	4.9	1.6	8.4	7.4	3.6	1.6	3.2
在庫前年比	12.6	30.3	22.7	6.0	16.0	39.5	35.7	19.4	2.2	31.9	29.5	12.4	32.3	26.3	22.5	23.8	1.9	0.3	25.3	18.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図9 非鉄金属工業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成12年=100.0





## ウ 金属製品工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、67.6で前年比 22.6%、出荷指数は60.2で同 28.8%、在庫指数は63.6で同 31.6%とそれぞれ低下した(表12)。

品目別でみると、生産は、橋りょう、産業用軽金属板、スチール・ステンレス製建具が上昇し、金網、鉄骨、鉄塔など6品目が低下した。

出荷は、橋りょう、産業用軽金属板、スチール・ステンレス製建具が上昇し、超硬工具、金網、鉄骨など6品目が低下した。

在庫は、金網、超硬工具、産業用軽金属板が低下した。

表12 金属製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

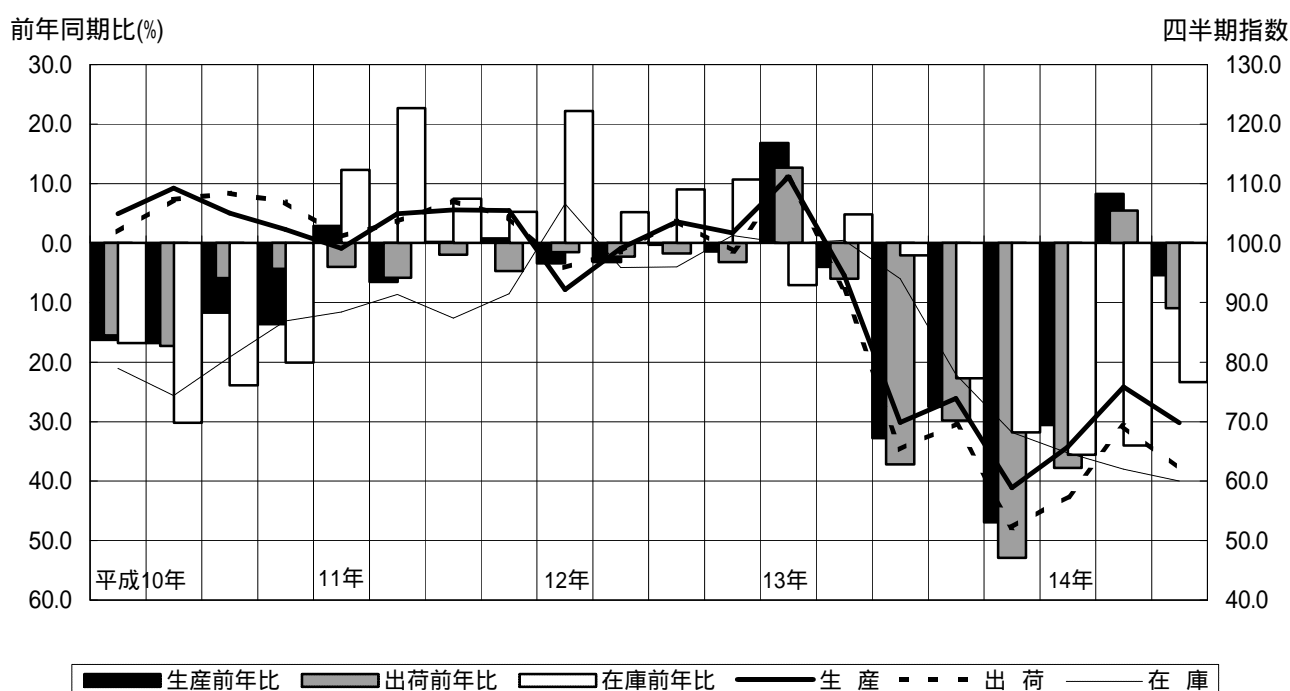
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	105.7	14.7	106.6	10.9	80.3	22.9
平成11年	102.1	3.4	102.2	4.1	89.6	11.6
平成12年	100.0	2.1	100.0	2.2	100.0	11.7
平成13年	87.3	12.7	84.5	15.5	93.0	7.0
平成14年	67.6	22.6	60.2	28.8	63.6	31.6

表13 金属製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	104.9	109.2	105.0	102.3	99.1	104.9	105.6	105.5	92.2	99.1	103.6	101.7	111.1	94.6	69.9	73.9	58.9	65.7	75.8	69.8
出荷	101.9	107.3	108.4	106.9	101.1	103.6	107.1	104.3	95.9	98.6	103.7	98.7	111.0	92.2	65.3	69.6	52.2	57.4	69.2	62.0
在庫	78.9	74.4	80.8	86.9	88.4	91.4	87.4	91.5	106.6	95.9	96.0	101.3	99.9	100.5	94.0	77.9	68.2	64.7	62.0	60.0
生産前年比	16.3	16.8	11.7	13.6	2.9	6.5	0.2	0.8	3.4	3.2	0.3	1.4	16.8	4.0	32.8	27.5	46.9	30.6	8.3	5.4
出荷前年比	15.5	17.3	5.9	4.3	4.0	5.8	2.0	4.7	1.5	2.3	1.7	3.2	12.7	6.0	37.2	29.8	52.9	37.8	5.5	10.9
在庫前年比	16.8	30.2	23.9	20.1	12.3	22.7	7.5	5.3	22.2	5.2	9.0	10.7	7.1	4.8	2.1	22.7	31.8	35.6	34.0	23.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図10 金属製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## エ 一般機械工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、89.6で前年比1.7%上昇し、出荷指数は87.6で同0.5%、在庫指数は68.2で同24.7%とそれぞれ低下した（表14）。

品目別でみると、生産は、バルブ及びコック、パルプ・製紙機械、ダイヤモンド工具など9品目が上昇し、電動工具、クレーン、圧縮機など13品目が低下した。

出荷は、バルブ及びコック、パルプ・製紙機械、ダイヤモンド工具など8品目が上昇し、クレーン、電動工具、食料品加工機械など14品目が低下した。

在庫は、特殊鋼切削工具、油圧機器が上昇し、金属工作機械、食料品加工機械、ダイヤモンド工具など7品目が低下した。

表14 一般機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

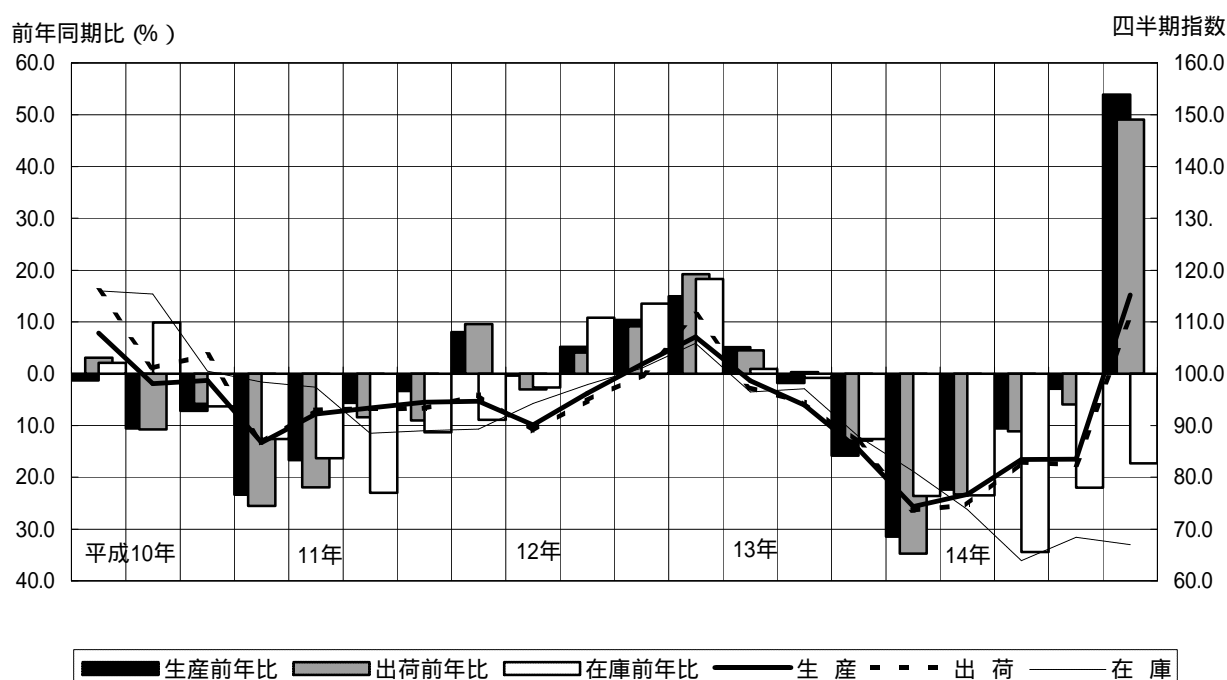
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	97.9	10.8	102.0	9.8	107.5	1.9
平成11年	92.9	5.1	93.1	8.7	91.2	15.2
平成12年	100.0	7.6	100.0	7.4	100.0	9.6
平成13年	88.1	11.9	88.0	12.0	90.6	9.4
平成14年	89.6	1.7	87.6	0.5	68.2	24.7

表15 一般機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	107.8	98.1	98.7	86.7	92.2	93.4	94.5	94.7	90.1	96.2	101.8	107.1	98.6	93.9	85.4	74.4	76.7	83.4	83.5	115.2
出荷	116.0	101.1	103.6	86.7	93.0	93.2	93.3	95.9	89.0	94.8	99.7	111.4	97.3	94.4	86.7	73.7	74.7	82.9	82.4	110.7
在庫	116.0	115.4	100.5	98.4	97.4	88.5	89.0	89.3	94.3	97.9	101.0	105.9	96.5	97.1	87.9	81.1	73.8	63.9	68.4	67.0
生産前年比	1.3	10.6	7.2	23.4	16.7	5.6	3.3	8.0	0.4	5.2	10.4	15.0	5.1	1.8	15.8	31.5	22.4	10.6	2.9	53.9
出荷前年比	3.1	10.8	5.8	25.5	21.9	8.4	9.0	9.6	3.0	4.1	9.2	19.2	4.5	0.3	12.9	34.7	23.3	11.1	5.9	49.1
在庫前年比	2.1	9.9	6.3	12.6	16.3	23.0	11.3	8.9	2.7	10.8	13.5	18.3	0.9	0.8	12.6	23.6	23.5	34.4	22.0	17.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図11 一般機械工業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成12年=100.0



## オ 電気機械工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、92.5で前年比12.1%、出荷指数は99.9で同25.2%、在庫指数は168.6で同46.5%とそれぞれ上昇した（表16）。

品目別でみると、生産は、リチウムイオン蓄電池、光ディスク、アルカリ蓄電池など11品目が上昇し、直流機、ビデオ機器、交流電動機など6品目が低下した。

出荷は、白熱電球、リチウムイオン蓄電池、光ディスクなど11品目が上昇し、直流機、ビデオ機器、交流電動機など6品目が低下した。

在庫は、シリコンウェハ、鉛電池、放電ランプが上昇し、リチウムイオン蓄電池、乾電池、換気扇が低下した。

表16 電気機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

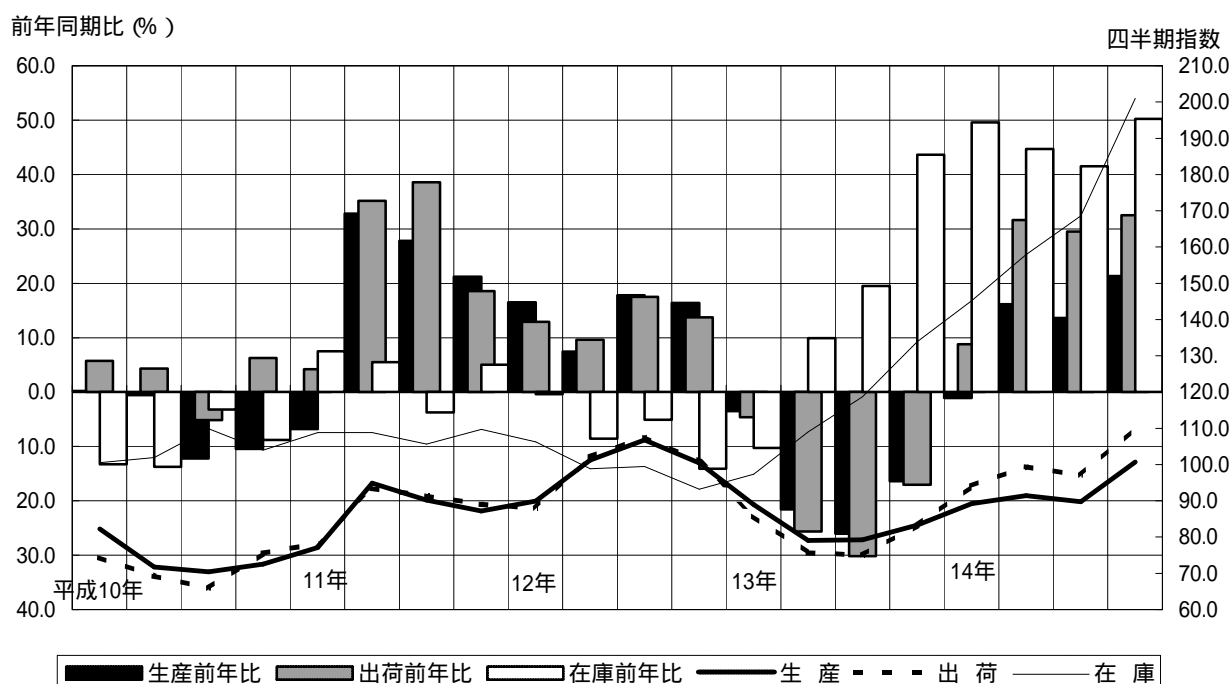
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	74.3	5.9	71.2	2.4	104.1	9.8
平成11年	87.3	17.5	88.1	23.7	107.7	3.5
平成12年	100.0	14.5	100.0	13.5	100.0	7.1
平成13年	82.5	17.5	79.8	20.2	115.1	15.1
平成14年	92.5	12.1	99.9	25.2	168.6	46.5

表17 電気機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	82.2	71.7	70.4	72.5	77.1	94.9	90.2	87.2	89.9	101.2	106.8	100.4	88.9	79.0	79.2	83.3	89.2	91.4	89.7	100.7
出荷	74.3	69.2	65.9	75.5	78.2	93.4	91.4	89.0	87.9	102.1	107.5	100.8	85.8	75.6	75.0	83.1	94.1	99.4	97.0	110.1
在庫	100.5	101.9	109.9	103.9	108.8	108.8	105.6	109.7	106.2	98.8	99.4	93.2	97.3	109.0	118.7	133.9	145.2	157.9	168.6	201.0
生産前年比	0.2	0.6	12.2	10.5	6.8	32.8	27.8	21.2	16.5	7.4	17.8	16.4	3.5	21.6	26.1	16.4	1.1	16.1	13.6	21.3
出荷前年比	5.7	4.3	5.2	6.2	4.2	35.2	38.6	18.6	12.9	9.6	17.5	13.7	4.6	25.7	30.2	17.1	8.8	31.6	29.5	32.5
在庫前年比	13.3	13.8	3.2	8.8	7.5	5.5	3.8	5.0	0.4	8.6	5.1	14.1	10.3	9.9	19.5	43.6	49.6	44.7	41.5	50.2

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図12 電気機械工業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成12年=100.0



## カ 情報通信機械工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、92.6で前年比1.2%、出荷指数は96.9で同2.5%とそれぞれ上昇し、在庫指数は108.5で同2.6%と低下した（表18）

品目別でみると、生産は、ボタン電話装置、液晶テレビジョン受信機、移動通信装置（携帯電話・PHS）など9品目が上昇し、アンプ・スピーカ、ステレオ、電話機など4品目が低下した。

出荷は、ボタン電話装置、ミッドレンジコンピュータ、カーナビゲーションシステムなど9品目が上昇し、アンプ・スピーカ、ステレオ、電話機など4品目が低下した。

在庫は、液晶テレビジョン受信機が上昇し、電話機、カーナビゲーションシステム、自動車用音響機器など4品目が低下した。

表18 情報通信機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

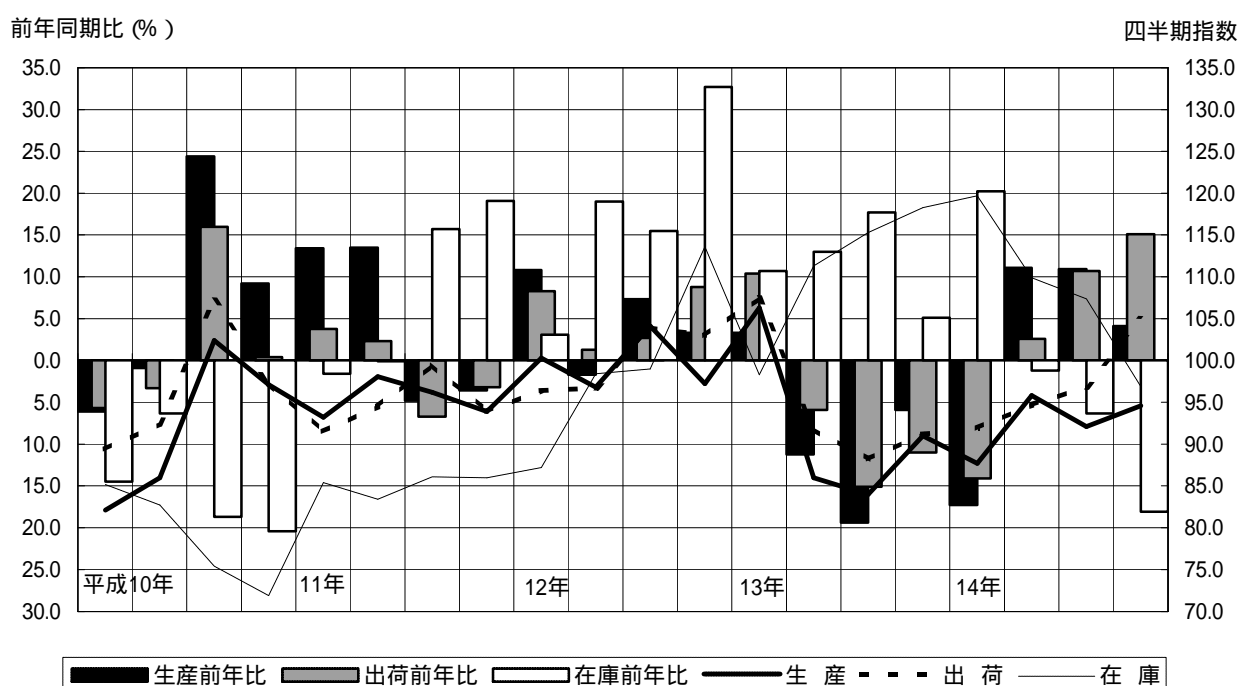
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	91.9	6.6	96.3	1.9	78.8	15.2
平成11年	95.3	3.7	95.0	1.3	85.0	7.9
平成12年	100.0	4.9	100.0	5.3	100.0	17.6
平成13年	91.5	8.5	94.5	5.5	111.4	11.4
平成14年	92.6	1.2	96.9	2.5	108.5	2.6

表19 情報通信機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	82.1	86.0	102.4	97.1	93.2	98.1	96.2	93.9	100.3	96.8	104.1	97.2	106.3	86.0	84.0	91.0	87.7	95.8	92.1	94.6
出荷	89.4	92.4	107.2	97.3	91.5	94.5	99.5	93.9	96.4	96.7	103.9	103.0	107.5	91.8	88.2	91.2	91.9	94.7	96.8	105.0
在庫	85.2	82.7	75.4	71.9	85.4	83.4	86.1	86.0	87.2	98.4	99.0	113.6	98.3	111.3	115.3	118.3	119.7	109.9	107.4	96.9
生産前年比	6.1	0.9	24.4	9.2	13.4	13.5	4.8	3.6	10.8	1.7	7.3	3.3	3.3	11.2	19.4	5.9	17.3	11.1	10.9	4.1
出荷前年比	5.7	3.3	16.0	0.4	3.8	2.3	6.7	3.2	8.3	1.3	2.7	8.8	10.4	5.9	15.1	11.0	14.1	2.6	10.7	15.1
在庫前年比	14.5	6.3	18.7	20.4	1.6	0.1	15.7	19.1	3.1	19.0	15.5	32.7	10.7	13.0	17.7	5.1	20.2	1.2	6.3	18.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図13 情報通信機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



キ 電子部品・デバイス工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、89.5 で前年比 0.7%、出荷指数は 87.3 で同 0.5%とそれぞれ上昇し、在庫指数は 141.6 で同 42.6%低下した（表20）

品目別でみると、生産は、水晶振動子、テレビジョン・ビデオ用チューナ、半導体素子など6品目が上昇し、トランス、スイッチ、抵抗器など7品目が低下した。

出荷は、水晶振動子、テレビジョン・ビデオ用チューナ、半導体素子など6品目が上昇し、トランス、スイッチ、抵抗器など7品目が低下した。

在庫は、液晶素子が上昇し、混成集積回路、半導体素子が低下した。

表20 電子部品・デバイス工業年別指数の推移（平成12年=100.0原指数）

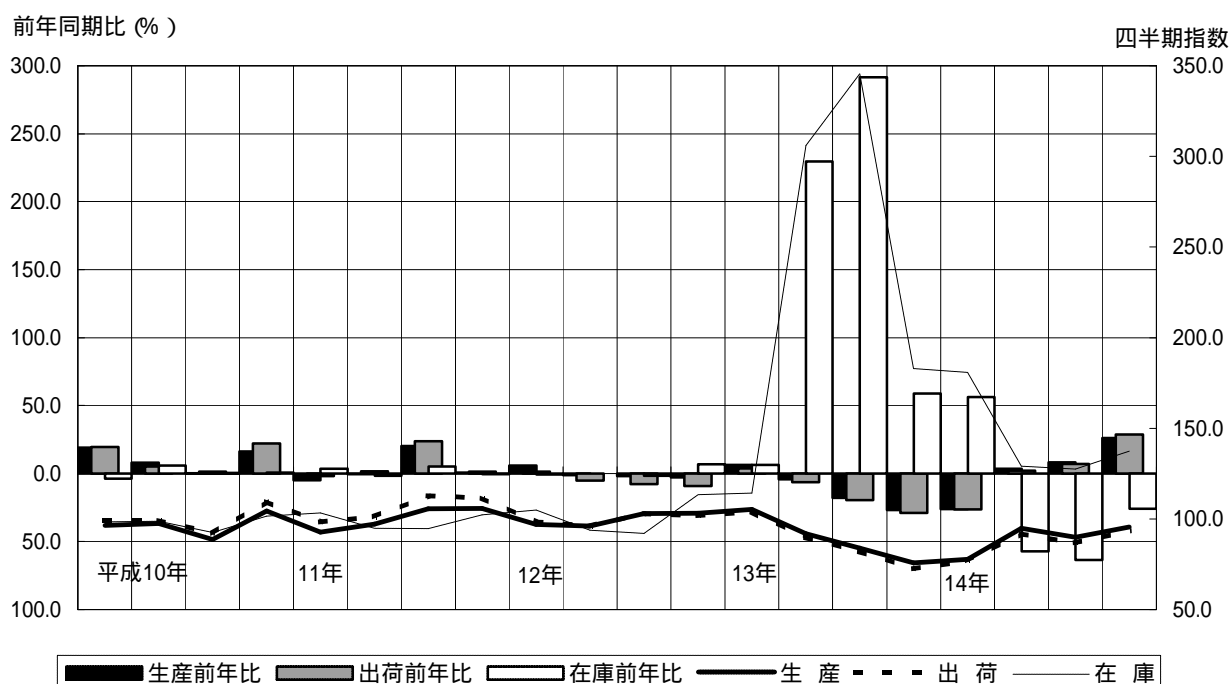
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	96.7	10.6	100.0	11.9	97.5	0.7
平成11年	100.1	3.5	105.8	5.8	99.0	1.5
平成12年	100.0	0.1	100.0	5.5	100.0	1.0
平成13年	88.9	11.1	86.8	13.2	246.7	146.7
平成14年	89.5	0.7	87.3	0.6	141.6	42.6

表21 電子部品・デバイス工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	96.5	97.5	88.5	104.4	92.6	97.2	105.5	105.7	96.9	96.0	102.8	103.2	105.1	91.7	83.9	75.6	77.7	94.8	89.9	95.5
出荷	99.2	99.1	92.1	109.5	98.3	101.1	112.8	111.5	98.3	95.9	102.8	101.9	103.9	89.8	82.1	72.4	76.9	91.7	86.8	93.5
在庫	98.3	98.6	92.4	101.4	103.3	94.7	94.6	102.1	104.9	93.8	91.9	113.4	114.2	306.0	345.7	183.0	180.8	129.0	127.4	137.3
生産前年比	18.9	8.1	0.2	16.2	4.9	0.5	20.2	0.7	5.8	1.1	1.8	2.8	6.4	4.4	17.9	26.9	26.3	3.6	8.2	26.0
出荷前年比	19.7	5.1	1.3	22.1	1.9	1.7	23.8	1.3	1.3	5.2	7.8	9.2	3.8	6.4	19.6	29.0	26.4	2.2	7.1	28.8
在庫前年比	3.9	5.8	0.3	0.7	3.5	1.6	5.0	0.6	0.8	0.1	1.7	6.9	6.5	229.6	291.6	58.8	56.4	57.2	63.5	26.0

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図14 電子部品・デバイス工業四半期別指数の推移（季節調整済指数）及び前年同期比（原指数）平成12年=100.0



## ク 輸送機械工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、99.5で前年比 0.7%、出荷指数は98.9で同 1.2%、在庫指数は94.9で同 34.3%とそれぞれ低下した(表22)

品目別でみると、生産は、自転車部品、自動車用シリンダーライナ、自動車用ポンプ類など5品目が上昇し、自転車、自動車用ブレーキシリンダ、ワイパーなど5品目が低下した。

出荷は、自動車用シリンダーライナ、自動車用ポンプ類、自動車用ショックアブソーバなど4品目が上昇し、自転車部品、自動車用ブレーキシリンダ、ワイパーなど6品目が低下した。

在庫は、自転車部品、自転車が低下した。

表22 輸送機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

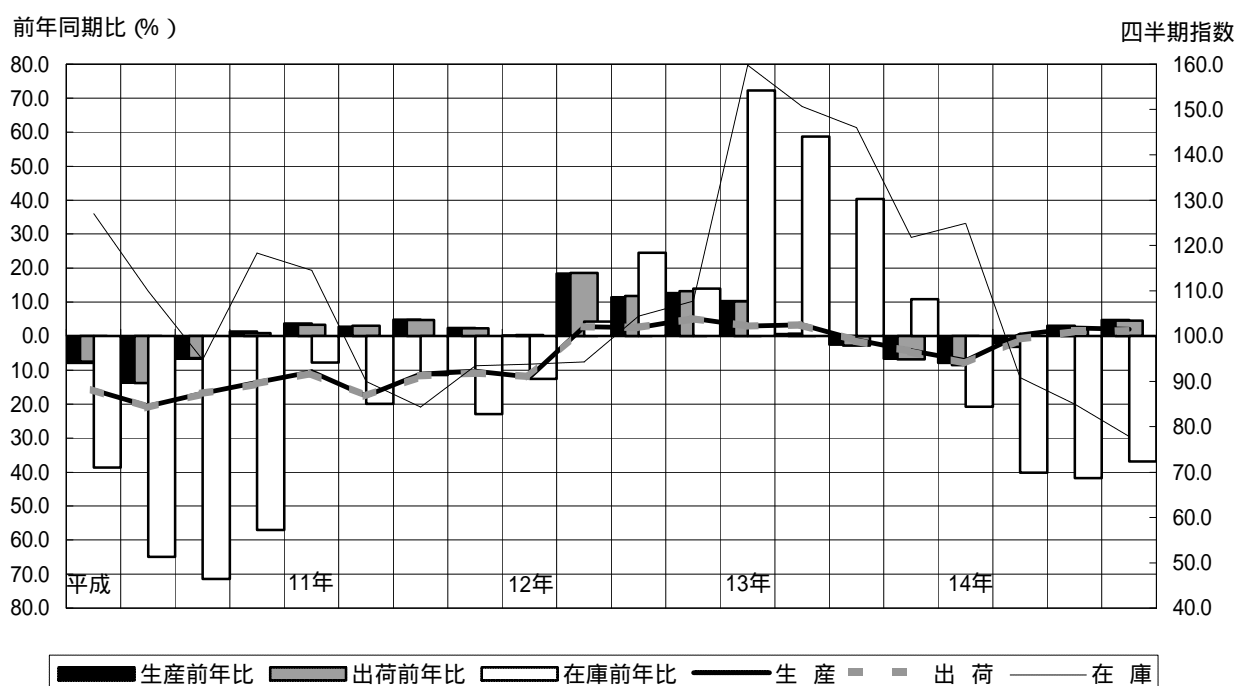
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	87.5	6.9	87.3	6.8	111.8	60.3
平成11年	90.5	3.4	90.2	3.3	94.2	15.7
平成12年	100.0	10.5	100.0	10.9	100.0	6.2
平成13年	100.2	0.2	100.0	0.0	144.4	44.4
平成14年	99.5	0.7	98.9	1.1	94.9	34.3

表23 輸送機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	88.1	84.6	87.4	89.8	92.1	86.8	91.6	92.3	91.0	102.1	101.9	103.9	102.2	102.5	99.2	96.8	94.6	100.3	101.8	101.5
出荷	88.2	84.2	87.3	89.5	91.8	86.7	91.2	91.9	91.0	102.1	101.9	103.9	102.2	102.5	98.9	96.6	93.9	99.3	101.1	101.2
在庫	127.0	109.9	94.8	118.3	114.5	90.0	84.4	93.4	93.8	94.3	104.4	107.7	159.7	150.7	146.0	121.8	124.9	90.8	85.0	77.9
生産前年比	7.9	13.7	6.6	1.3	3.7	2.8	4.8	2.4	0.1	18.4	11.4	12.6	10.3	0.6	2.5	6.6	7.9	2.1	3.0	4.7
出荷前年比	7.5	13.8	6.4	0.9	3.3	3.0	4.7	2.3	0.4	18.6	11.8	13.2	10.2	0.7	2.8	6.8	8.5	3.1	2.5	4.6
在庫前年比	38.7	64.9	71.4	57.0	7.8	19.9	11.4	23.0	12.6	4.3	24.5	13.9	72.2	58.7	40.3	10.9	20.7	40.1	41.7	36.8

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図15 輸送機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## ケ 精密機械工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、90.1で前年比 11.9%、出荷指数は92.0で同 8.8%とそれぞれ低下し、在庫指数は167.7で同 25.7%上昇した(表24)。

品目別でみると、生産は、カメラ用交換レンズ、医療用具機械が上昇し、精密測定器、ガスメータ、携帯時計側など6品目が低下した。

出荷は、医療用具機械が上昇し、精密測定器、ガスメータ、携帯時計側など7品目が低下した。

在庫は、カメラ、カメラ用交換レンズが上昇し、ガスメータ、分析機器が低下した。

表24 精密機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

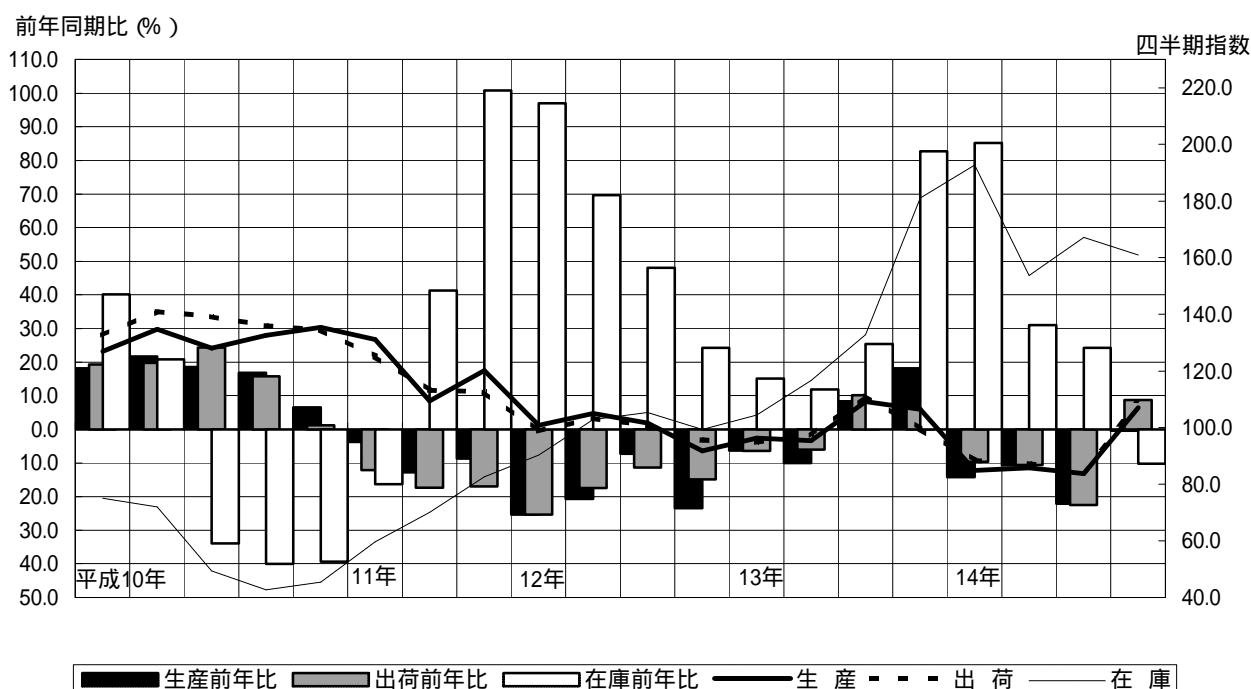
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	130.5	18.9	137.0	19.7	59.9	7.2
平成11年	124.3	4.8	121.3	11.4	64.7	8.1
平成12年	100.0	19.5	100.0	17.6	100.0	54.6
平成13年	102.3	2.3	100.9	0.9	133.4	33.4
平成14年	90.1	11.9	92.0	8.8	167.7	25.7

表25 精密機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
生産	127.0	134.7	128.0	132.5	135.4	131.1	109.5	120.2	100.8	105.1	101.6	91.7	96.2	95.4	109.1	106.4	84.9	85.7	83.7	107.0
出荷	132.6	141.0	139.2	136.0	134.5	125.2	113.2	112.7	98.7	103.2	100.8	95.6	94.7	97.2	111.3	99.6	88.4	87.3	84.6	108.9
在庫	75.0	72.0	49.3	42.7	45.4	59.6	70.1	82.6	90.3	102.9	105.4	99.4	104.4	116.6	132.9	181.0	192.7	153.7	167.2	161.0
生産前年比	18.2	21.7	18.5	16.8	6.5	3.7	12.8	8.7	25.3	20.7	7.2	23.4	6.3	10.0	8.4	18.2	14.2	10.7	22.1	0.4
出荷前年比	19.3	19.8	24.3	15.8	1.2	12.1	17.4	17.0	25.3	17.5	11.4	14.8	6.4	6.0	10.2	6.1	9.7	10.6	22.5	8.8
在庫前年比	40.1	20.8	33.9	40.1	39.3	16.3	41.3	100.8	97.0	69.7	48.1	24.2	15.1	11.9	25.4	82.7	85.2	31.0	24.2	10.2

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図16 精密機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



コ 窯業・土石製品工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、89.5で前年比 4.0%低下し、出荷指数は93.4で同2.9%、在庫指数は111.8で同1.8%とそれぞれ上昇した（表26）

品目別でみると、生産は、不定型耐火物、木材セメント板、ファインセラミックスなど6品目が上昇し、電気用陶磁器、生コンクリート、道路用コンクリート製品など12品目が低下した。

出荷は、不定型耐火物、ガラス長繊維、ファインセラミックスなど9品目が上昇し、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、生コンクリート、電気用陶磁器など9品目が低下した。

在庫は、ガラス基礎製品、木材セメント板、不定型耐火物など5品目が上昇し、電気用陶磁器、遠心力鉄筋コンクリートポール、プレストレストコンクリート製品など12品目が低下した。

表26 窯業・土石製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

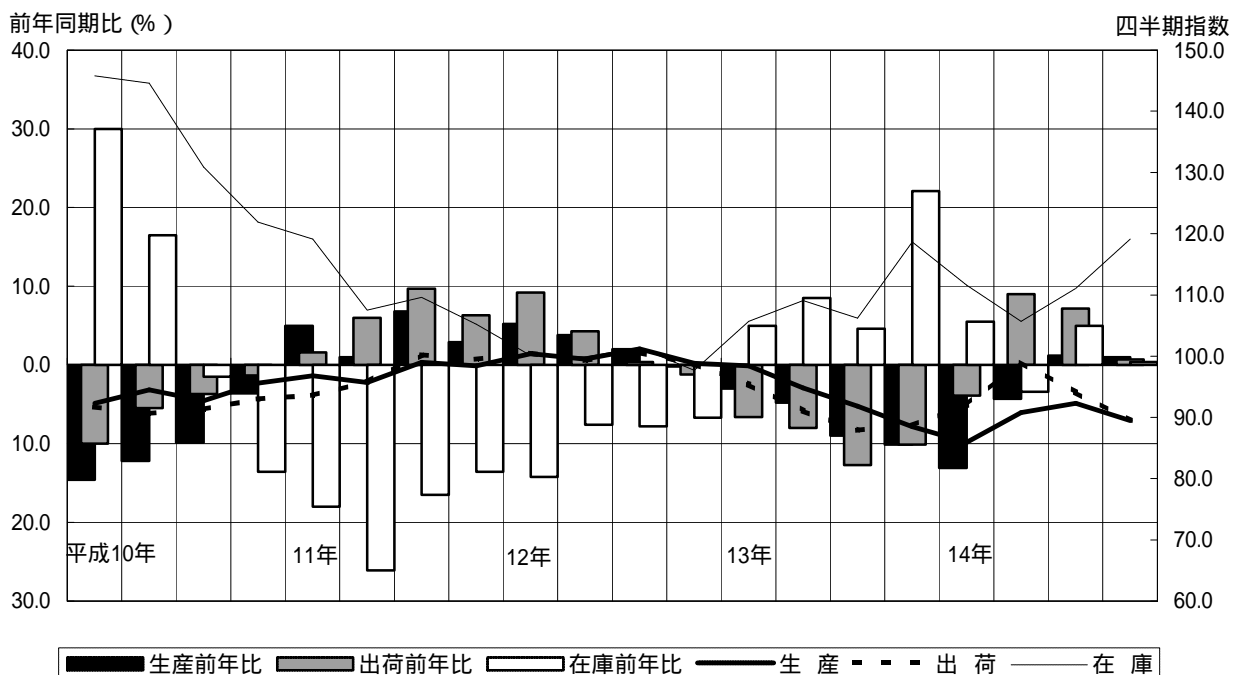
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成9年	104.3		96.7		127.7	
平成10年	93.8	10.1	91.8	5.1	135.5	6.1
平成11年	97.4	3.8	97.1	5.8	110.0	18.8
平成12年	100.0	2.7	100.0	3.0	100.0	9.1
平成13年	93.2	6.8	90.7	9.3	109.8	9.8
平成14年	89.5	4.0	93.4	3.0	111.8	1.8

表27 窯業・土石製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	92.3	94.5	92.7	95.6	96.8	95.7	99.0	98.4	100.4	99.5	101.2	98.8	98.4	94.8	91.8	88.5	85.9	90.8	92.3	89.5
出荷	91.7	90.7	91.3	93.0	93.6	95.8	100.2	99.5	100.5	99.3	100.6	98.7	95.4	91.1	87.9	88.7	92.0	99.0	94.1	89.5
在庫	145.8	144.6	130.9	121.9	119.1	107.5	109.6	105.2	100.1	99.9	101.4	97.7	105.7	109.1	106.2	118.7	111.6	105.7	111.1	119.1
生産前年比	14.6	12.2	9.9	3.6	5.0	1.0	6.8	2.9	5.2	3.8	2.0	0.2	3.0	4.8	9.0	10.1	13.1	4.3	1.2	1.0
出荷前年比	10.0	5.5	3.7	1.3	1.6	6.0	9.7	6.3	9.2	4.3	0.4	1.2	6.6	8.0	12.7	10.1	3.9	9.0	7.2	0.7
在庫前年比	30.0	16.5	1.5	13.6	18.0	26.1	16.5	13.6	14.2	7.6	7.8	6.7	5.0	8.5	4.6	22.1	5.5	3.4	5.0	0.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図17 窯業・土石製品工業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成12年=100.0





## サ 化学工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、94.6で前年比 2.7%、出荷指数は91.7で同 5.1%とそれぞれ低下し、在庫指数は127.3で同 17.9%上昇した（表28）

品目別でみると、生産は、クロルベンゼン、ふっ素樹脂、過酸化水素など13品目が上昇し、塩化メチル、フェノール樹脂、産業用火薬類など14品目が低下した。

出荷は、クロルベンゼン、複合肥料、塩酸など13品目が上昇し、塩素、塩化メチル、フェノール樹脂など14品目が低下した。

在庫は、クロルベンゼン、か性ソーダ、農薬など9品目が上昇し、化学石こう、合成染料、活性炭など13品目が低下した。

表28 化学工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

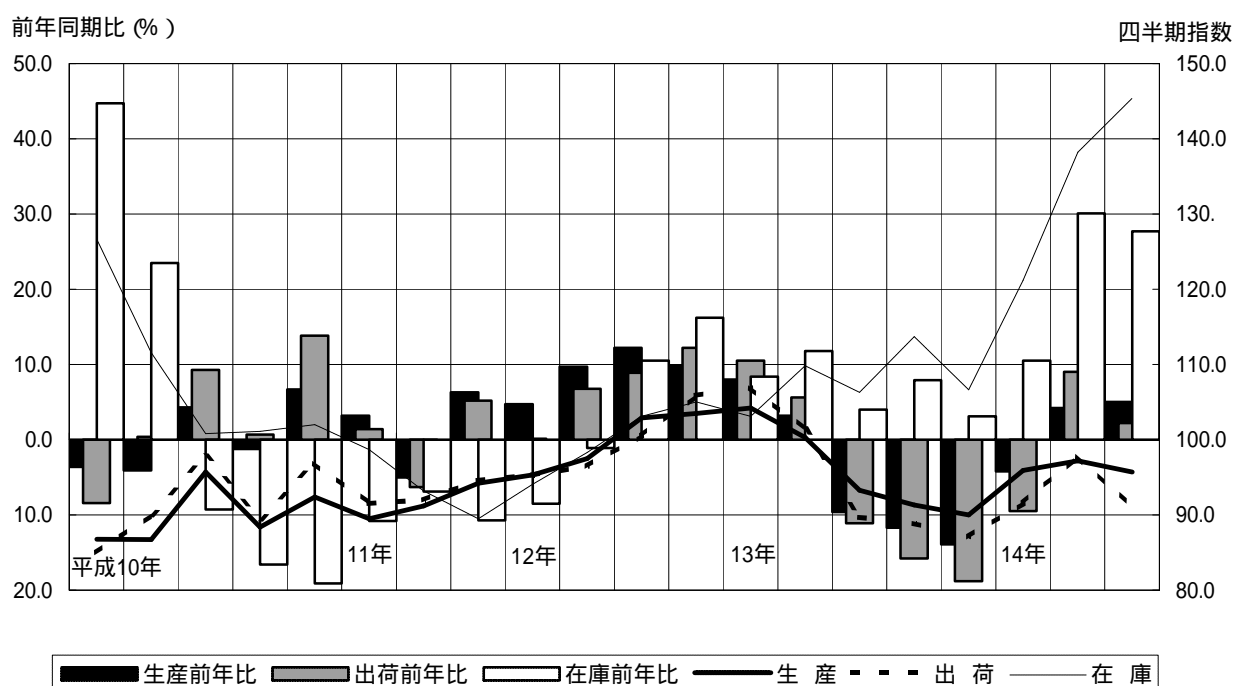
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	89.2	1.2	90.4	0.3	110.2	7.9
平成11年	91.7	2.8	93.4	3.3	96.6	12.4
平成12年	100.0	9.1	100.0	7.1	100.0	3.6
平成13年	97.2	2.8	96.6	3.4	108.0	8.0
平成14年	94.6	2.7	91.7	5.1	127.3	17.9

表29 化学工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	86.8	86.7	95.7	88.4	92.4	89.5	91.2	94.2	95.3	97.5	102.9	103.5	104.2	100.3	93.3	91.3	90.0	95.9	97.2	95.7
出荷	85.0	90.0	97.8	89.5	96.9	91.5	92.0	94.6	95.3	96.5	100.5	105.9	106.9	101.4	89.7	88.9	87.1	91.6	97.8	91.0
在庫	126.6	111.6	100.8	101.1	102.0	98.7	93.2	89.5	94.1	98.3	103.1	105.0	103.1	109.8	106.3	113.7	106.6	121.2	138.2	145.4
生産前年比	3.6	4.1	4.3	1.2	6.7	3.2	5.0	6.3	4.7	9.7	12.2	9.9	8.0	3.2	9.6	11.7	13.9	4.2	4.2	5.0
出荷前年比	8.4	0.4	9.3	0.7	13.8	1.4	6.3	5.2	0.1	6.8	8.9	12.2	10.5	5.6	11.1	15.8	18.8	9.5	9.0	2.2
在庫前年比	44.7	23.5	9.3	16.6	19.1	10.8	6.9	10.7	8.5	1.1	10.5	16.2	8.4	11.8	4.0	7.9	3.1	10.5	30.1	27.7

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図18 化学工業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成12年=100.0



## シ プラスチック製品工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、100.3で前年比8.1%、出荷指数は101.8で同8.3%、在庫指数は112.6で同28.0%とそれぞれ上昇した(表30)。

品目別でみると、生産は、プラスチック製機械器具部品、発泡製品、強化製品が上昇し、プラスチック製日用品・雑貨、プラスチック製フィルム、ウレタンフォームなど4品目が低下した。

出荷は、プラスチック製機械器具部品、強化製品が上昇し、プラスチック製日用品・雑貨、プラスチック製フィルム、ウレタンフォームなど5品目が低下した。

在庫は、プラスチック製機械器具部品、発泡製品、ウレタンフォームなど4品目が上昇し、プラスチック製日用品・雑貨、プラスチック製容器が低下した。

表30 プラスチック製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

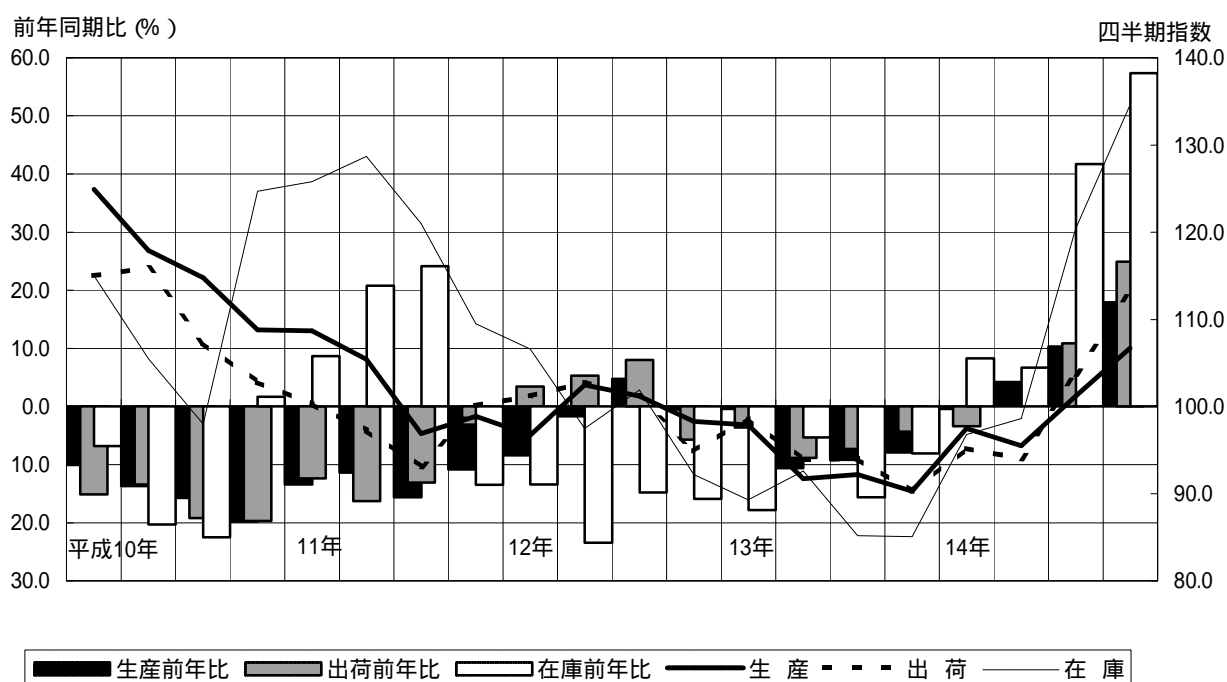
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	116.5	14.9	109.9	16.9	110.9	12.1
平成11年	101.6	12.8	97.6	11.2	120.3	8.5
平成12年	100.0	1.6	100.0	2.5	100.0	16.9
平成13年	92.8	7.2	94.0	6.0	88.0	12.0
平成14年	100.3	8.1	101.8	8.3	112.6	28.0

表31 プラスチック製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	124.9	117.9	114.8	108.8	108.7	105.4	96.9	98.9	96.7	102.5	101.2	98.3	97.9	91.7	92.2	90.3	97.5	95.5	101.2	106.7
出荷	115.0	115.9	107.3	102.8	100.3	97.3	93.1	100.1	101.2	102.8	101.2	94.9	98.6	93.9	94.0	90.3	95.2	94.0	103.7	113.1
在庫	115.0	105.5	98.0	124.7	125.8	128.7	121.0	109.5	106.6	97.5	101.9	92.2	89.3	92.6	85.2	85.1	96.8	98.6	120.4	134.6
生産前年比	10.1	13.7	15.7	19.8	13.4	11.4	15.6	10.8	8.4	1.7	4.8	0.5	0.4	10.6	9.2	7.9	0.4	4.2	10.3	17.9
出荷前年比	15.1	13.4	19.2	19.7	12.4	16.3	13.1	3.1	3.4	5.3	8.0	5.7	3.6	8.8	7.3	4.3	3.4	0.0	10.9	24.9
在庫前年比	6.8	20.3	22.5	1.7	8.7	20.8	24.1	13.5	13.4	23.4	14.8	15.9	17.8	5.3	15.6	8.1	8.3	6.7	41.7	57.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図19 プラスチック製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## ス パルプ・紙・紙加工品工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、103.0で前年比2.2%、出荷指数は105.7で同3.1%、在庫指数は109.4で同1.6%とそれぞれ上昇した(表32)。

品目別でみると、生産は、雑板紙、段ボール原紙、段ボール箱など4品目が上昇し、雑種紙、情報用紙、段ボールシートなど4品目が低下した。

出荷は、雑板紙、段ボール原紙、段ボール箱など5品目が上昇し、雑種紙、情報用紙、段ボールシートが低下した。

在庫は、雑板紙、塗工紙が上昇し、雑種紙、段ボールシート、段ボール原紙など4品目が低下した。

表32 パルプ・紙・紙加工品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

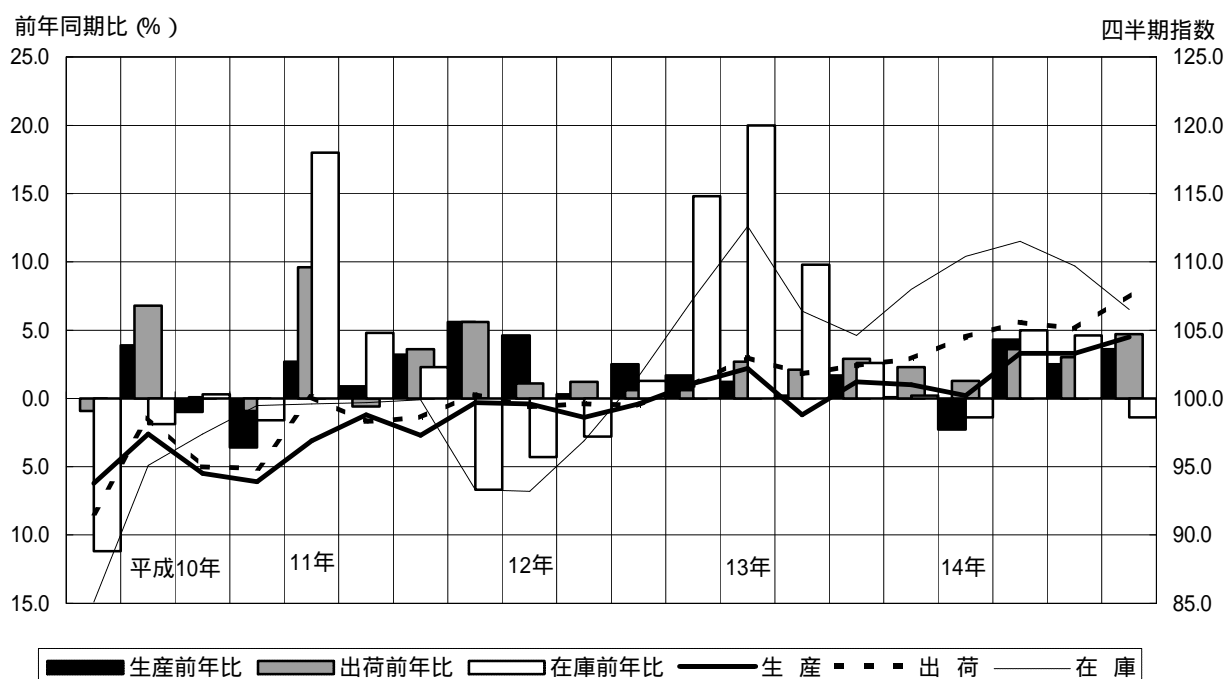
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	94.9	0.3	95.0	1.2	94.2	3.5
平成11年	97.9	3.2	99.2	4.4	97.9	3.9
平成12年	100.0	2.1	100.0	0.9	100.0	2.1
平成13年	100.8	0.8	102.5	2.5	107.7	7.7
平成14年	103.0	2.2	105.7	3.1	109.4	1.6

表33 パルプ・紙・紙加工品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
生産	93.8	97.4	94.5	93.9	96.9	98.8	97.3	99.7	99.6	98.6	99.6	101.1	102.2	98.8	101.2	101.0	100.2	103.3	103.3	104.5
出荷	91.6	98.6	95.0	94.9	100.1	98.3	98.6	100.3	99.4	99.6	99.5	101.0	103.0	101.8	102.4	102.9	104.5	105.6	105.1	107.6
在庫	85.1	95.1	97.4	99.5	99.6	99.7	99.9	93.3	93.2	96.9	101.6	107.3	112.6	106.4	104.6	108.0	110.4	111.5	109.7	106.5
生産前年比	0.0	3.9	1.0	3.6	2.7	0.9	3.2	5.6	4.6	0.3	2.5	1.7	1.2	0.2	1.7	0.1	2.3	4.3	2.5	3.6
出荷前年比	0.9	6.8	0.1	0.9	9.6	0.6	3.6	5.6	1.1	1.2	0.6	0.6	2.7	2.1	2.9	2.3	1.3	3.6	3.0	4.7
在庫前年比	11.2	1.9	0.3	1.6	18.0	4.8	2.3	6.7	4.3	2.8	1.3	14.8	20.0	9.8	2.6	0.2	1.4	5.0	4.6	1.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図20 パルプ・紙・紙加工品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



セ 繊維工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、86.2で前年比 2.4%、出荷指数は84.4で同 3.4%とそれぞれ低下し、在庫指数は96.3で同5.4%上昇した(表34)。

品目別でみると、生産は、ニット製靴下、ニット製外衣、染色整理が上昇し、ふとん、織物製補整着、合成繊維織物など7品目が低下した。

出荷は、ニット製靴下、染色整理、ニット製外衣が上昇し、ふとん、絹・絹紡織物、合成繊維織物など7品目が低下した。

在庫は、ニット製靴下、絹・絹紡織物、織物製外衣など5品目が上昇し、織物製補整着、ふとん、合成繊維など5品目が低下した。

表34 繊維工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

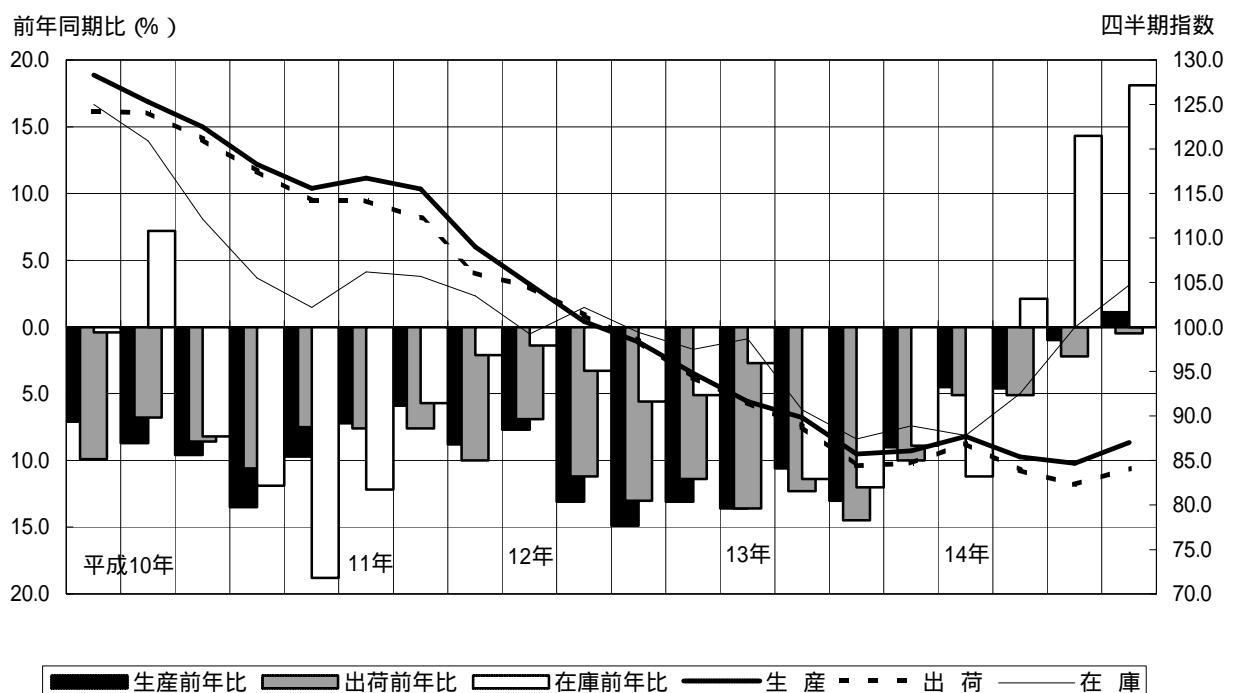
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	123.6	9.6	121.6	9.0	115.8	3.7
平成11年	113.8	7.9	111.8	8.1	104.1	10.1
平成12年	100.0	12.1	100.0	10.5	100.0	3.9
平成13年	88.3	11.7	87.3	12.7	91.4	8.6
平成14年	86.2	2.4	84.4	3.3	96.3	5.4

表35 繊維工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	128.3	125.3	122.5	118.3	115.6	116.7	115.5	109.0	104.8	100.6	98.3	94.8	91.6	89.8	85.7	86.1	87.7	85.4	84.7	87.0
出荷	124.2	124.1	121.1	117.5	114.2	114.2	112.2	106.1	104.5	101.3	98.4	94.3	91.5	88.8	84.4	84.7	86.9	83.9	82.3	84.1
在庫	125.0	120.9	112.1	105.5	102.2	106.2	105.7	103.5	99.2	102.2	99.4	97.5	98.7	90.7	87.4	88.9	87.8	92.5	100.0	104.7
生産前年比	7.1	8.7	9.6	13.5	9.7	7.2	5.9	8.8	7.7	13.1	14.9	13.1	13.6	10.6	13.0	9.0	4.5	4.6	1.0	1.1
出荷前年比	9.9	6.8	8.6	10.6	7.5	7.6	7.6	10.0	6.9	11.2	13.0	11.4	13.6	12.3	14.5	10.0	5.1	5.1	2.2	0.5
在庫前年比	0.4	7.2	8.2	11.9	18.8	12.2	5.7	2.1	1.4	3.3	5.6	5.1	2.7	11.4	12.0	8.9	11.2	2.1	14.3	18.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図21 繊維工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



ソ 食料品・たばこ工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、100.3で前年比 1.5%、出荷指数は100.8で同 1.3%とそれぞれ低下し、在庫指数は120.9で同3.9%上昇した(表36)。

品目別でみると、生産は、惣菜、米菓、豆腐・油揚げなど5品目が上昇し、果実缶詰、冷凍水産物、野菜漬物など18品目が低下した。

出荷は、惣菜、米菓、豆腐・油揚げなど6品目が上昇し、果実缶詰、冷凍水産物、野菜漬物など17品目が低下した。

在庫は、練乳・粉乳、たばこ、肉製品など4品目が上昇し、清涼飲料、めん類、配合肥料など6品目が低下した。

表36 食料品・たばこ工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

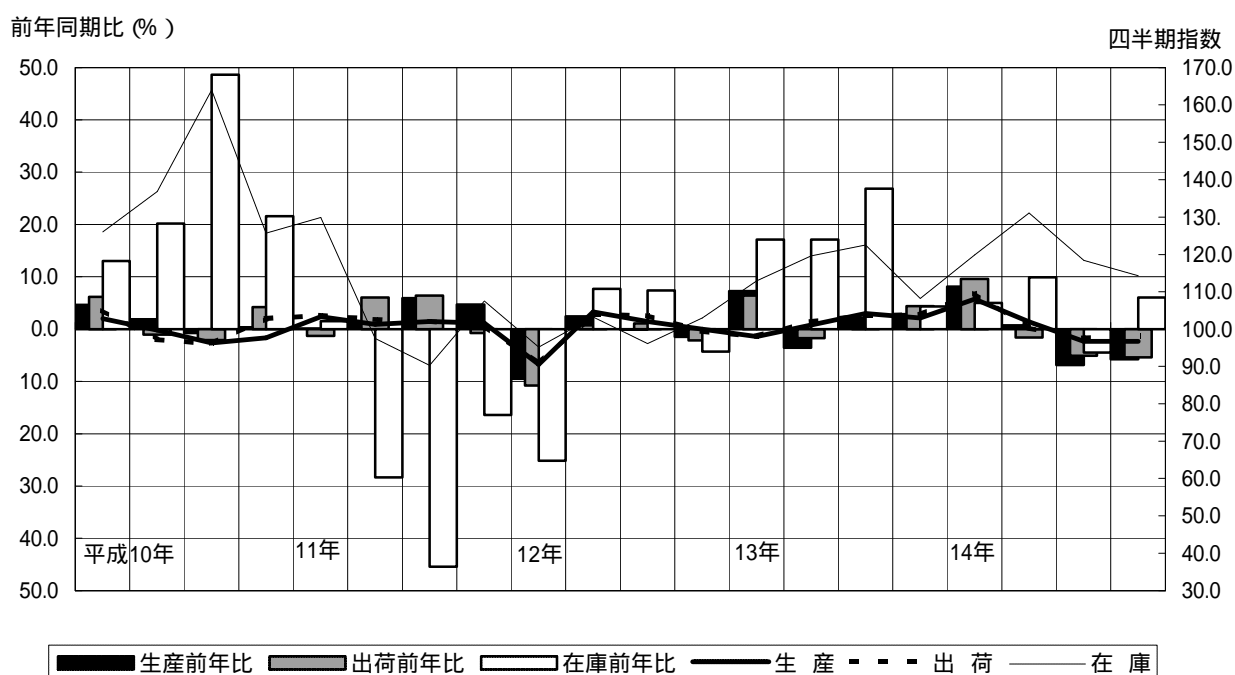
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	98.8	1.4	99.9	1.6	139.8	27.0
平成11年	101.9	3.1	102.5	2.6	104.3	25.4
平成12年	100.0	1.9	100.0	2.4	100.0	4.1
平成13年	101.8	1.8	102.1	2.1	116.4	16.4
平成14年	100.3	1.5	100.8	1.3	120.9	3.9

表37 食料品・たばこ工業四半期指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	102.8	99.7	96.3	97.7	103.3	101.3	102.0	101.6	90.5	104.6	102.0	100.0	98.0	101.1	104.2	103.0	108.0	101.9	96.7	96.7
出荷	105.0	97.2	96.1	102.8	103.7	102.6	102.1	101.0	90.8	103.9	103.6	99.4	98.1	102.0	103.6	103.9	109.6	100.3	97.6	98.1
在庫	126.0	136.8	164.0	125.7	129.9	97.5	90.3	107.5	95.2	103.2	96.1	103.0	112.9	119.6	122.5	108.2	119.9	131.1	118.4	114.3
生産前年比	4.6	1.9	0.7	0.4	0.1	1.5	5.9	4.7	9.5	2.4	0.1	1.5	7.3	3.6	2.2	2.9	8.1	0.7	6.9	5.8
出荷前年比	6.2	1.1	2.1	4.2	1.3	6.0	6.4	0.7	10.8	0.7	1.1	2.2	6.4	1.7	0.5	4.4	9.6	1.6	5.1	5.4
在庫前年比	13.0	20.2	48.6	21.6	1.5	28.3	45.4	16.4	25.2	7.7	7.4	4.3	17.1	17.1	26.9	4.3	5.0	9.9	4.5	6.0

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図22 食料品・たばこ工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



タ ゴム・皮革製品工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、101.0で前年比1.1%上昇し、出荷指数は123.7で同1.0%低下し、在庫指数は103.6で同6.3%上昇した（表38）。

品目別でみると、生産は、自動車用タイヤ、ゴム製履物が上昇し、革靴、ゴム製品（医療・運動・その他用）、プラスチック製履物など4品目が低下した。

出荷は、自動車用タイヤが上昇し、ゴム製履物、革靴、ゴム製品（医療・運動・その他用）など5品目が低下した。

在庫は、自動車用タイヤ、工業用ゴム製品が上昇し、ゴム製履物、革靴が低下した。

表38 ゴム・皮革製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

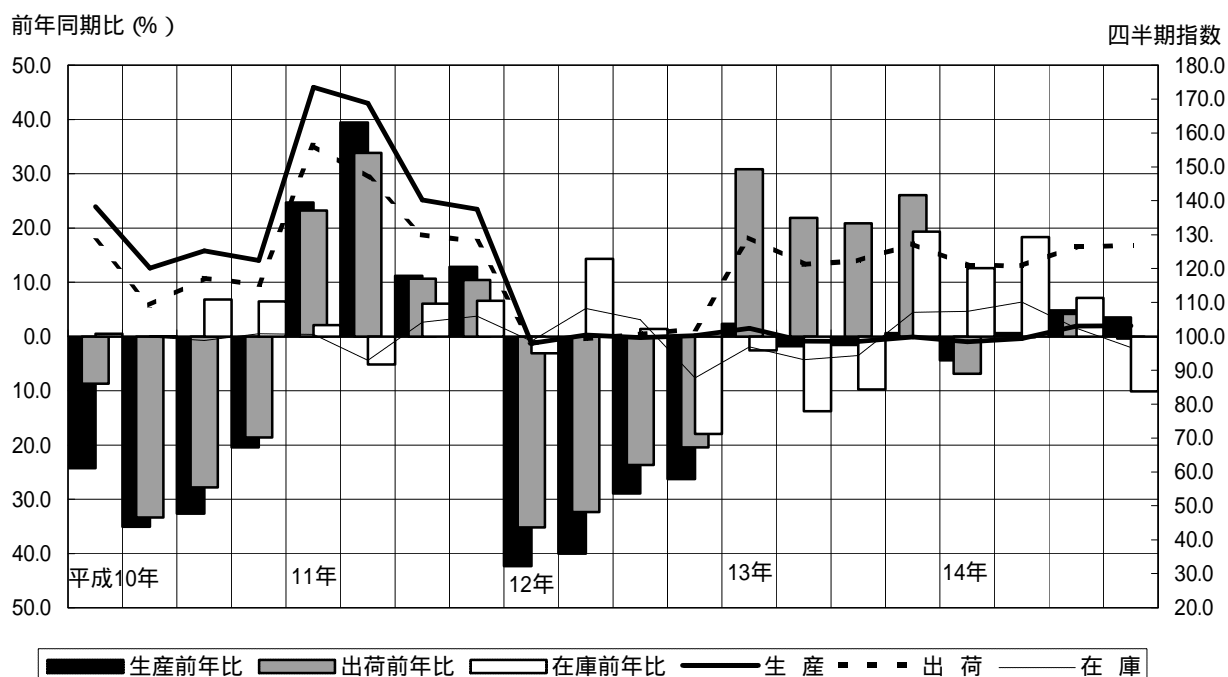
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	126.4	28.5	117.1	22.9	99.5	3.4
平成11年	154.2	22.0	139.7	19.4	102.0	2.5
平成12年	100.0	35.1	100.0	28.4	100.0	2.0
平成13年	99.9	0.1	124.9	24.9	97.4	2.6
平成14年	101.0	1.1	123.7	1.0	103.6	6.4

表39 ゴム・皮革製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	138.2	120.1	125.2	122.4	173.5	168.7	140.2	137.5	98.0	100.4	99.6	100.2	102.4	98.6	98.5	99.9	98.4	99.3	103.0	103.1
出荷	128.1	109.2	117.2	115.3	156.3	146.9	130.0	127.9	98.1	99.3	100.6	102.2	129.2	121.2	122.3	127.3	120.9	120.8	126.5	126.8
在庫	100.1	99.9	98.8	100.8	100.6	93.0	104.2	106.0	98.6	108.2	104.9	87.8	96.9	93.1	94.3	107.1	107.4	110.1	102.4	96.7
生産前年比	24.3	35.1	32.7	20.5	24.7	39.4	11.2	12.8	42.4	40.1	29.0	26.3	2.3	1.8	1.6	0.6	4.4	0.6	4.8	3.5
出荷前年比	8.7	33.4	27.8	18.6	23.2	33.8	10.6	10.4	35.2	32.4	23.7	20.5	30.8	21.8	20.8	26.0	6.9	0.2	4.1	0.4
在庫前年比	0.5	0.0	6.8	6.4	2.1	5.2	6.0	6.6	3.1	14.3	1.4	18.0	2.6	13.8	9.8	19.3	12.6	18.3	7.1	10.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図23 ゴム・皮革製品工業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成12年=100.0



チ 木材・木製品工業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、69.5で前年比 7.3%、出荷指数は66.7で同 13.8%とそれぞれ低下し、在庫指数は107.7で同 52.3%上昇した(表40)。品目別でみると、生産は、一般製材、パーティクルボード、繊維板が低下した。出荷は、繊維板が上昇し、一般製材、パーティクルボードが低下した。在庫は、一般製材、繊維板が上昇し、パーティクルボードが低下した。

表40 木材・木製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

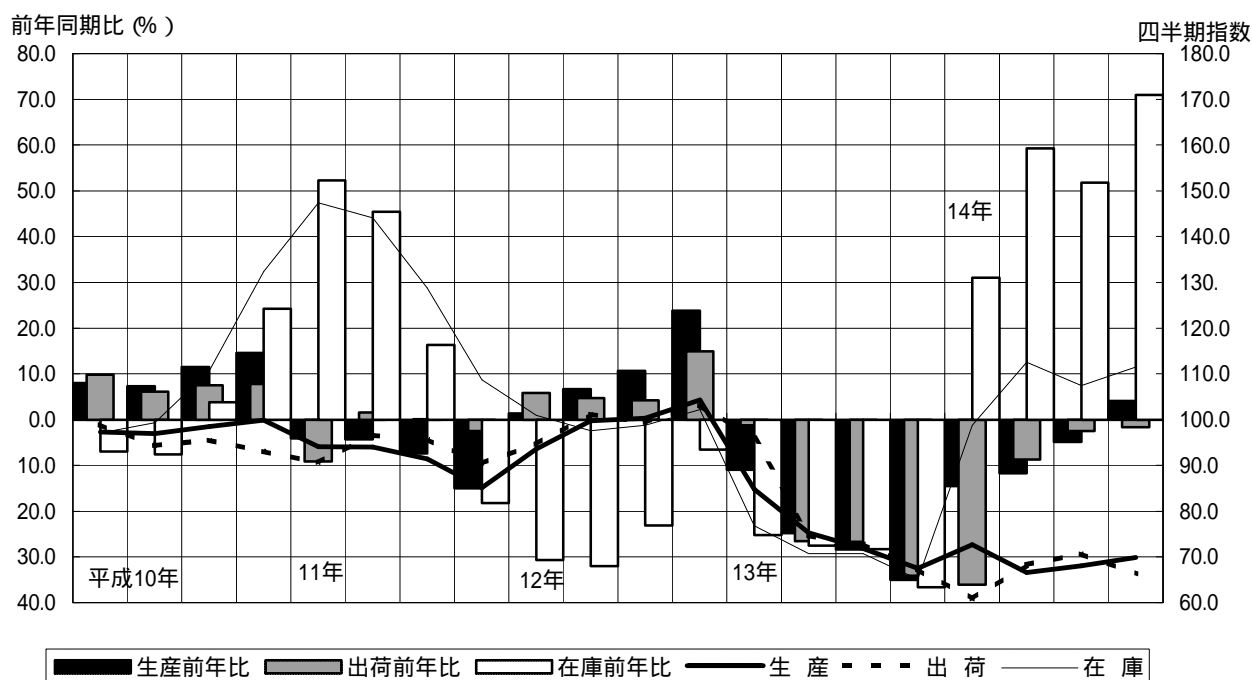
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	98.3	10.3	95.6	7.8	109.5	3.3
平成11年	90.6	7.8	93.1	2.6	132.3	20.8
平成12年	100.0	10.4	100.0	7.4	100.0	24.4
平成13年	74.9	25.1	77.3	22.7	70.7	29.3
平成14年	69.5	7.2	66.7	13.7	107.7	52.3

表41 木材・木製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	97.3	97.0	98.5	99.9	94.1	94.0	91.4	85.2	93.6	99.8	100.3	104.3	84.8	75.3	71.8	67.5	72.7	66.6	68.1	69.9
出荷	98.9	94.3	95.5	93.1	90.6	96.6	95.7	90.4	94.6	101.2	99.4	103.2	95.9	74.7	72.8	67.4	60.8	68.3	70.7	66.3
在庫	97.1	99.3	110.7	132.3	147.4	144.1	128.8	108.7	100.9	97.6	98.8	102.2	76.8	70.7	70.7	65.1	98.8	112.5	107.4	111.5
生産前年比	8.0	7.3	11.5	14.6	4.1	4.3	7.4	15.0	1.4	6.7	10.7	23.8	11.0	24.8	28.4	35.0	14.5	11.7	4.9	4.1
出荷前年比	9.8	6.1	7.5	7.8	9.1	1.6	0.1	2.5	5.8	4.7	4.2	14.9	1.2	26.5	26.7	34.1	36.1	8.7	2.5	1.6
在庫前年比	6.9	7.6	3.8	24.2	52.3	45.4	16.3	18.2	30.7	32.0	23.1	6.5	25.2	27.5	28.3	36.6	31.0	59.3	51.8	71.0

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図24 木材・木製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



### ツ その他製品工業

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、96.9で前年比3.4%、出荷指数は98.8で同6.6%とそれぞれ上昇し、在庫指数は98.5で同0.3%低下した（表42）。

品目別でみると、生産は、その他の木製家具、木製棚、玩具が上昇し、ペン、印刷物、台所用金属製家具が低下した。

出荷は、その他の木製家具、木製棚、玩具が上昇し、ペン、印刷物、台所用金属製家具が低下した。

在庫は、木製棚、台所用金属製家具が上昇し、玩具が低下した。

表42 その他製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

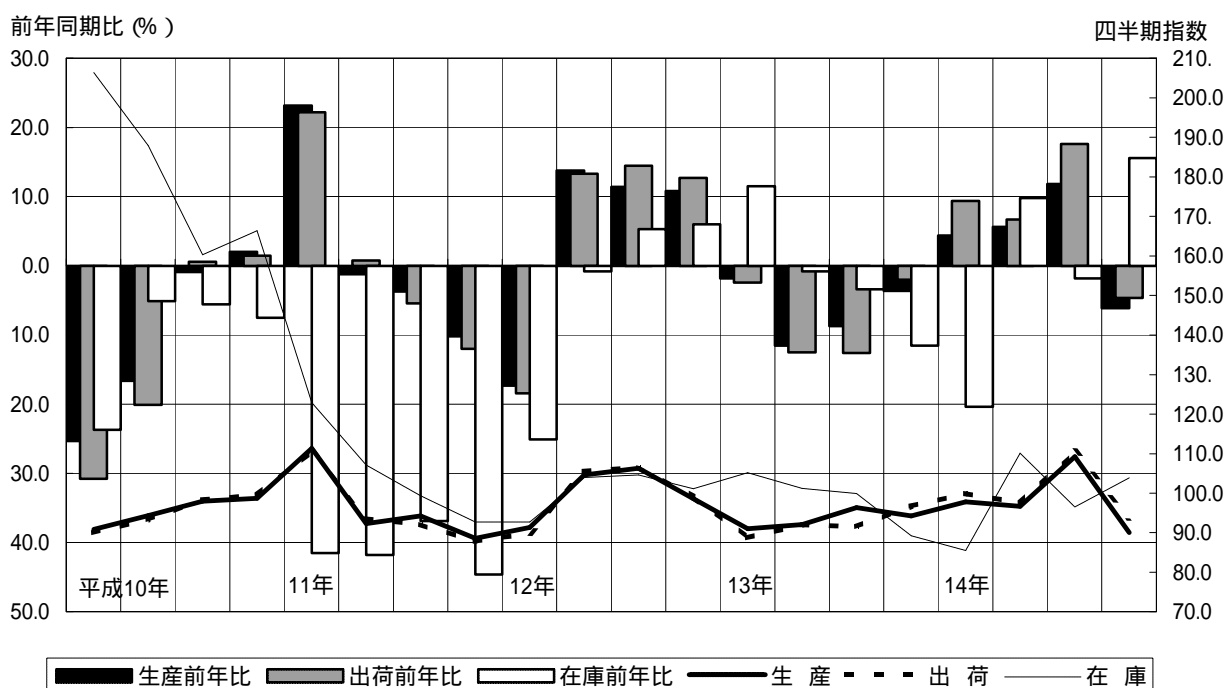
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	95.4	11.1	95.3	14.0	180.5	12.5
平成11年	96.9	1.6	96.3	1.0	105.8	41.4
平成12年	100.0	3.2	100.0	3.8	100.0	5.5
平成13年	93.7	6.3	92.7	7.3	98.8	1.2
平成14年	96.9	3.4	98.8	6.6	98.5	0.3

表43 その他製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	90.8	94.3	98.0	98.7	111.4	92.3	94.2	88.6	91.3	104.6	106.3	98.6	91.0	92.1	96.4	94.2	97.8	96.7	109.2	90.1
出荷	90.0	93.3	98.3	99.5	110.7	93.5	92.1	87.8	89.8	105.5	106.5	99.1	88.7	92.0	91.5	96.7	99.9	97.5	110.7	93.7
在庫	206.4	187.9	160.3	166.4	122.9	107.1	99.4	92.7	92.7	104.0	104.6	101.1	105.1	101.2	99.9	89.2	85.5	110.1	96.5	103.9
生産前年比	25.3	16.6	0.9	2.0	23.2	1.2	3.7	10.2	17.3	13.8	11.4	10.8	1.8	11.5	8.7	3.6	4.4	5.6	11.8	6.1
出荷前年比	30.8	20.1	0.6	1.5	22.2	0.8	5.4	12.0	18.4	13.3	14.5	12.7	2.4	12.5	12.6	2.0	9.4	6.7	17.6	4.6
在庫前年比	23.7	5.1	5.6	7.5	41.5	41.8	36.9	44.6	25.1	0.8	5.3	6.0	11.5	0.8	3.4	11.5	20.4	9.8	1.8	15.6

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図25 その他製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数) 平成12年=100.0





テ 鋳業

平成14年の生産指数(原指数年平均)は、94.1で前年比 4.8%、出荷指数は93.2で同 0.6%、在庫指数は22.6で同 55.7%とそれぞれ低下した(表44)

品目別でみると、生産は、原油が上昇し、けい砂、石灰石、天然ガスが低下した。

出荷は、原油が上昇し、石灰石、けい砂、天然ガスが低下した。

在庫は、原油が上昇し、石灰石、けい砂が低下した。

表44 鋳業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

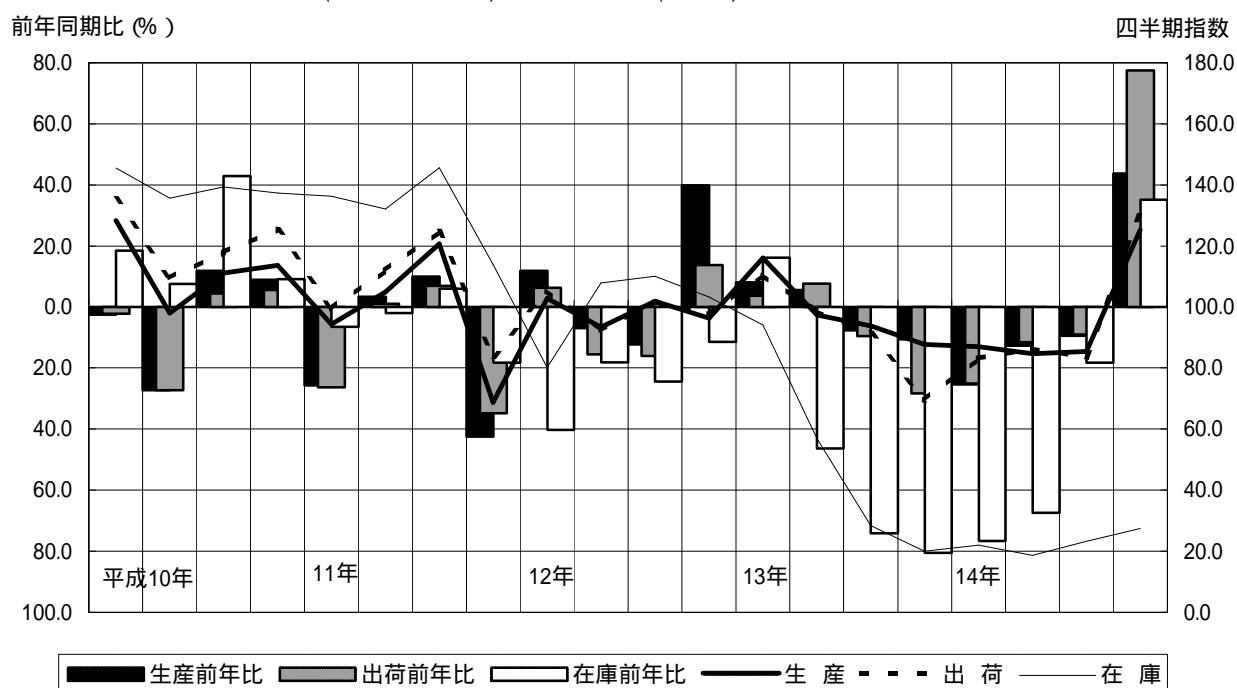
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	112.5	3.4	122.0	5.6	139.2	17.9
平成11年	97.1	13.7	105.6	13.4	132.1	5.1
平成12年	100.0	3.0	100.0	5.3	100.0	24.3
平成13年	98.8	1.2	93.8	6.2	51.0	49.0
平成14年	94.1	4.8	93.2	0.6	22.6	55.7

表45 鋳業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	128.3	98.0	111.1	113.6	94.4	104.9	120.7	68.8	102.8	93.4	101.8	96.4	116.0	97.4	93.8	87.7	87.0	84.7	85.4	125.2
出荷	135.4	109.5	117.9	125.3	99.5	112.0	124.7	83.8	105.3	92.3	101.7	97.7	110.5	98.5	91.3	69.5	83.2	86.2	83.6	130.5
在庫	145.5	135.7	139.3	137.3	136.3	132.1	145.7	113.9	80.1	107.8	110.1	103.2	94.1	56.9	28.4	20.0	22.0	18.6	23.2	27.5
生産前年比	2.5	27.3	11.8	8.9	25.7	3.3	9.9	42.5	11.8	6.9	12.3	39.9	8.0	5.5	7.6	10.6	25.3	12.7	9.4	43.8
出荷前年比	2.2	27.2	4.4	5.5	26.3	1.1	6.9	34.8	6.3	15.6	16.1	13.7	3.6	7.6	9.5	28.3	25.0	11.6	9.0	77.5
在庫前年比	18.5	7.5	42.9	9.1	6.5	2.0	5.9	18.3	40.3	18.2	24.4	11.4	16.2	46.3	74.1	80.5	76.7	67.4	18.3	35.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図26 鋳業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数) 平成12年=100.0



(3) 財別の動向

ア 概況

平成14年の財別生産指数(原指数年平均)は、最終需要財90.4で前年比4.5%と低下し、生産財95.8で同3.0%と上昇した。

出荷指数(原指数年平均)は、最終需要財92.0で前年比3.6%と低下し、生産財96.9で同4.8%と上昇した。

在庫指数(原指数年平均)は、最終需要財109.1で前年比0.4%、生産財125.6で同0.2%とそれぞれ上昇した(表46)。

最終需要財の季節調整済指数を四半期別にみると、生産指数及び出荷指数は年間を通してわずかな上昇と低下を繰り返し、横ばい傾向で推移した。在庫指数は、1期、2期で上昇し、3期、4期で低下した(表47)。

生産財(季節調整済指数)の生産指数及び出荷指数は、1期で平成13年1期以来4期ぶりにそれぞれ上昇した後、年間を通し上昇傾向で推移した。在庫指数は、1期、2期で平成13年1期に引き続き低下した後、3期、4期で上昇した(表48)。

表46 財別指数の推移

(平成12年=100.0 原指数)

		最終需要財														生産財	
		投資財								消費財						年平均 指数	前年比 (%)
		資本財				建設財				耐久消費財			非耐久消費財				
年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)	年平均 指数	前年比 (%)
生 産	平成10年	98.0	2.0	106.8	9.6	110.5	10.7	102.0	8.2	93.5	3.1	78.3	23.3	99.0	1.6	96.8	5.0
	平成11年	99.6	1.6	98.9	7.4	97.2	12.0	101.0	1.0	99.9	6.9	96.7	23.4	101.2	2.2	98.6	1.9
	平成12年	100.0	0.4	100.0	1.1	100.0	2.9	100.0	1.0	100.0	0.1	100.0	3.5	100.0	1.2	100.0	1.4
	平成13年	94.7	5.3	93.9	6.2	98.1	1.9	88.3	11.7	95.1	4.9	86.3	13.7	98.3	1.7	93.0	7.0
	平成14年	90.4	4.5	88.2	6.0	98.3	0.2	75.0	15.0	91.5	3.8	84.4	2.2	94.2	4.2	95.8	3.0
出 荷	平成10年	99.1	1.4	110.8	8.0	115.9	8.3	101.4	7.4	92.4	3.5	77.3	19.2	98.8	0.7	95.8	2.5
	平成11年	99.2	0.1	98.5	11.1	97.0	16.4	101.3	0.1	99.6	7.8	96.1	24.4	101.1	2.3	99.1	3.4
	平成12年	100.0	0.8	100.0	1.5	100.0	3.1	100.0	1.3	100.0	0.4	100.0	4.1	100.0	1.1	100.0	0.9
	平成13年	95.4	4.6	95.5	4.5	99.8	0.2	87.6	12.4	95.4	4.6	87.4	12.6	98.7	1.3	92.5	7.5
	平成14年	92.0	3.6	91.0	4.7	101.2	1.4	72.3	17.5	92.6	2.9	88.0	0.7	94.5	4.3	96.9	4.8
在 庫	平成10年	110.7	3.0	100.5	8.6	82.3	0.8	111.3	12.2	115.6	9.0	82.9	15.8	137.3	23.6	108.8	6.1
	平成11年	95.4	13.8	98.3	2.2	73.6	10.5	112.9	1.4	94.0	18.7	79.5	4.1	103.6	24.5	101.4	6.8
	平成12年	100.0	4.8	100.0	1.8	100.0	35.9	100.0	11.4	100.0	6.4	100.0	25.8	100.0	3.5	100.0	1.4
	平成13年	108.6	8.6	109.6	9.6	149.3	49.3	86.1	13.9	108.1	8.1	100.7	0.7	113.0	13.0	125.3	25.3
	平成14年	109.1	0.4	108.4	1.1	138.4	7.3	90.5	5.1	109.5	1.3	99.2	1.5	116.2	2.8	125.6	0.2

表47 最終需要財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	97.0	96.4	101.0	97.6	100.7	101.2	100.0	97.2	94.1	99.6	103.4	101.1	100.1	93.8	92.4	92.8	90.8	91.2	89.6	90.5
出荷	98.5	96.5	102.7	98.6	98.8	100.4	100.5	96.8	92.0	99.6	103.9	103.1	101.2	96.3	92.6	92.2	91.7	91.2	91.7	93.8
在庫	109.1	114.0	116.9	102.0	105.6	91.6	90.6	96.3	92.1	100.9	100.2	104.6	104.1	110.6	112.1	107.2	112.7	115.8	107.6	100.9
生産前年比	4.8	4.9	3.3	1.6	3.2	4.7	0.5	0.7	4.7	1.5	3.6	4.1	4.3	5.9	10.7	8.1	10.0	2.7	2.7	2.5
出荷前年比	3.9	4.8	4.5	1.5	0.3	3.9	1.7	1.7	5.4	1.0	3.0	6.3	8.1	3.8	10.8	10.2	10.0	5.2	0.5	1.9
在庫前年比	1.9	5.9	9.1	1.2	4.3	19.7	22.6	6.7	11.5	11.5	11.4	9.0	10.7	10.2	12.0	2.2	7.9	5.0	4.0	6.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図 27 最終需要財四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

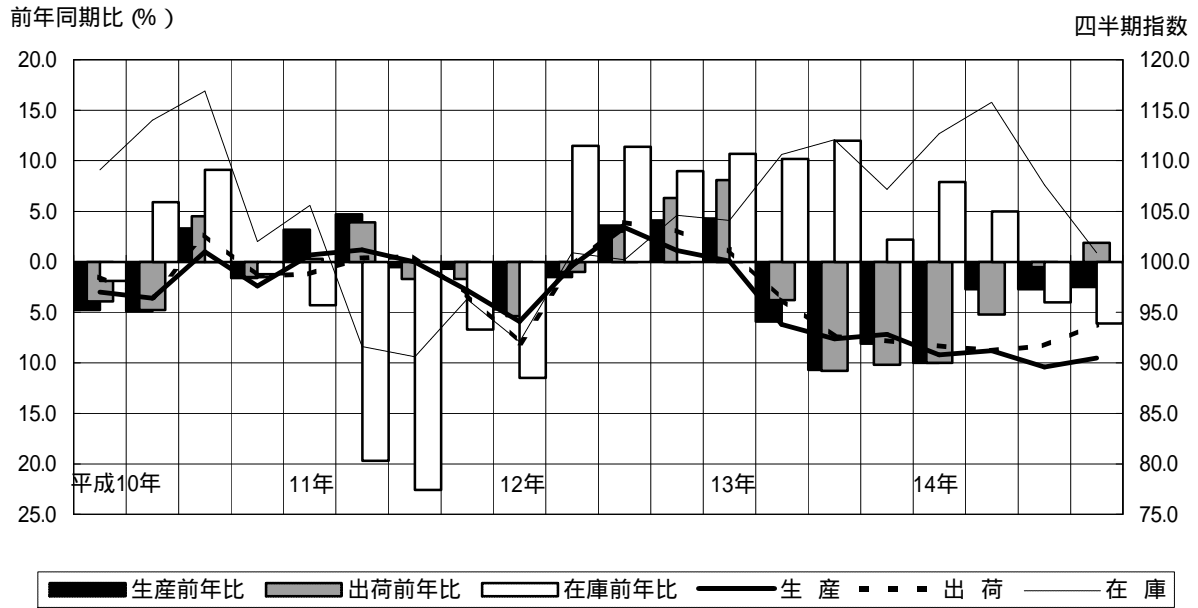
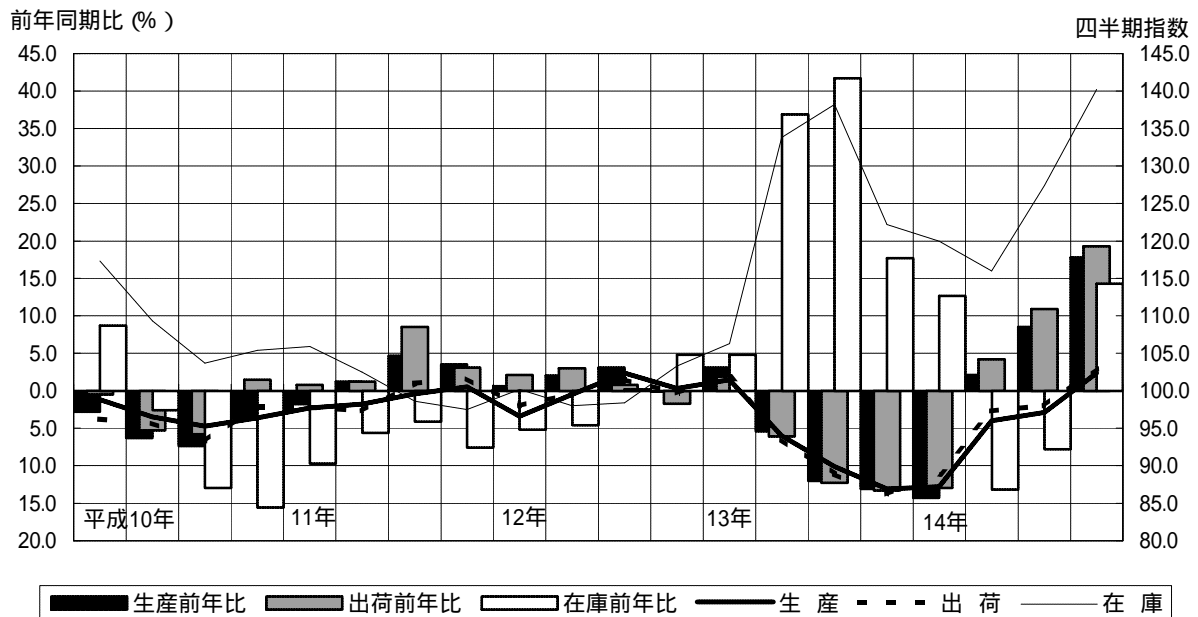


表 48 生産財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	98.8	96.5	95.3	96.4	97.7	98.2	99.6	100.5	96.6	99.5	102.4	100.3	101.5	94.0	89.9	86.9	87.2	96.0	97.1	102.4
出荷	96.2	95.7	93.3	97.9	97.8	97.3	101.0	101.6	98.0	99.6	101.5	99.7	101.9	93.5	88.9	86.2	88.9	97.3	98.0	103.0
在庫	117.3	109.3	103.7	105.4	105.9	102.5	98.6	97.5	100.2	98.0	98.4	103.3	106.3	133.8	138.2	122.2	120.0	116.0	127.4	140.2
生産前年比	2.8	6.3	7.4	3.6	1.8	1.2	4.7	3.5	0.6	2.0	3.1	0.1	3.1	5.4	12.0	13.1	14.3	2.1	8.5	17.8
出荷前年比	0.5	5.3	5.8	1.5	0.8	1.2	8.5	3.1	2.1	3.0	0.8	1.7	1.9	6.1	12.3	13.3	13.0	4.2	10.9	19.3
在庫前年比	8.7	2.6	13.0	15.6	9.7	5.6	4.1	7.6	5.2	4.6	0.2	4.8	4.8	36.9	41.7	17.7	12.7	13.2	7.8	14.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図 28 生産財四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## イ 投資財

平成14年の投資財の生産指数（原指数年平均）は、資本財が98.3で前年比0.2%と上昇し、建設財が75.0で同15.0%と低下し、全体として88.2となり同6.0%の低下となった。

出荷指数（原指数年平均）は、資本財が101.2で前年比1.4%と上昇し、建設財が72.3で同17.5%と低下し、全体として91.0となり同4.7%の低下となった。

在庫指数（原指数年平均）は、資本財が138.4で前年比7.3%と低下し、建設財が90.5で同5.1%と上昇し、全体として108.4となり同1.1%の低下となった（表46）。

投資財の季節調整済指数を四半期別にみると、生産指数は、期で平成13年 期から4期連続で低下した後、3期連続上昇した。出荷指数は、期で平成13年 期から5期連続で低下した後、3期連続上昇した。在庫指数は、期で平成12年 期から9期連続で上昇した後、3期連続低下した（表49）。

表49 投資財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	107.8	106.3	109.8	102.4	102.4	102.0	95.1	97.5	94.4	96.5	103.2	103.7	104.9	93.3	88.4	88.5	84.6	88.6	89.5	90.3
出荷	112.8	111.5	115.9	102.1	100.5	99.9	95.8	98.1	92.8	96.5	102.5	107.5	106.9	97.2	89.5	88.0	85.9	88.2	94.0	96.1
在庫	105.6	103.0	96.2	97.5	109.0	96.3	94.8	94.6	90.8	100.3	103.4	103.5	105.1	108.9	110.7	112.9	120.1	114.1	103.2	97.1
生産前年比	7.2	13.0	5.2	13.5	5.7	5.1	13.9	4.8	5.6	4.9	8.4	7.5	8.5	3.6	14.8	14.1	19.9	4.9	1.7	2.2
出荷前年比	5.2	8.6	2.8	15.6	10.7	11.1	17.9	3.5	6.1	3.4	6.1	10.1	13.5	0.0	12.7	17.4	19.7	9.1	5.2	9.3
在庫前年比	0.3	8.5	13.5	11.8	2.4	7.0	1.3	3.0	15.5	5.1	9.1	9.9	13.8	8.0	7.2	10.0	13.5	4.8	6.4	14.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図29 投資財四半期別指数の推移（季節調整済指数）及び前年同期比（原指数）平成12年=100.0

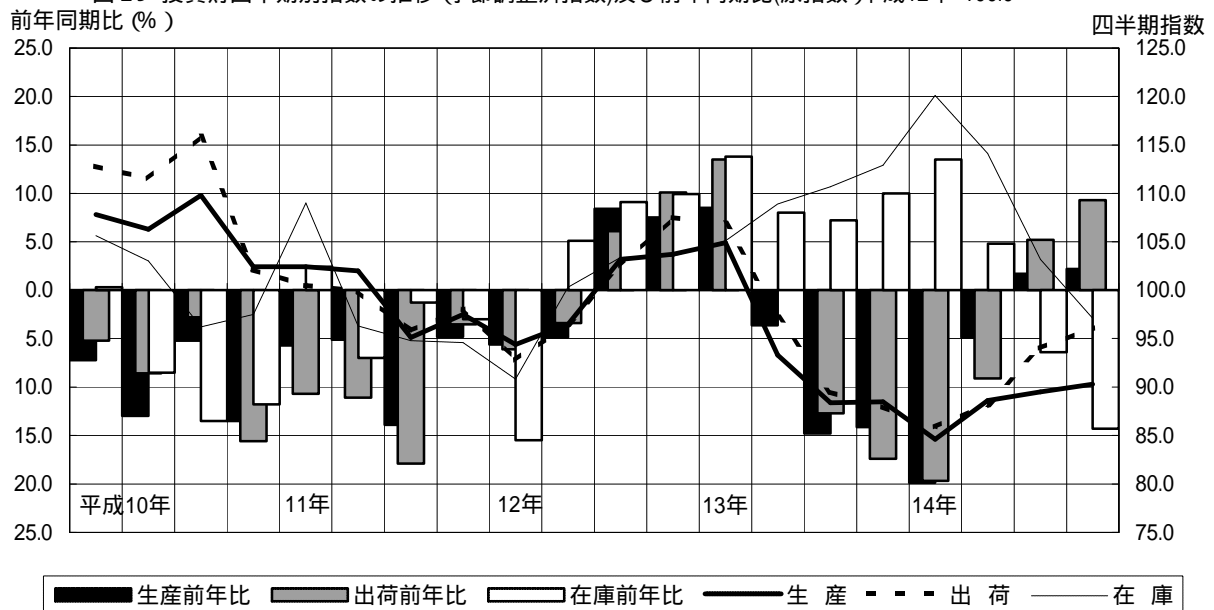


表50 資本財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	115.0	109.0	118.0	99.0	101.7	102.1	90.0	94.8	92.8	94.5	104.3	106.9	109.1	94.5	93.7	94.2	91.9	98.7	100.3	103.3
出荷	120.9	116.6	125.6	100.6	100.3	98.3	93.1	94.8	91.1	94.6	104.6	110.9	111.1	99.7	96.1	91.8	94.6	96.5	105.5	109.8
在庫	91.4	91.4	72.7	73.6	82.6	72.4	69.7	71.3	70.0	105.3	102.3	118.2	122.5	145.7	154.9	169.5	184.3	148.0	123.8	101.8
生産前年比	4.3	10.8	4.5	23.6	11.1	6.8	24.2	3.6	5.7	7.4	14.6	12.6	14.1	0.1	10.7	10.8	16.6	4.6	7.8	10.0
出荷前年比	2.9	6.2	1.6	23.1	15.6	15.8	26.6	4.5	7.2	4.3	10.0	16.2	20.0	4.8	8.2	16.1	15.3	3.2	10.2	19.8
在庫前年比	14.8	17.3	12.6	13.5	11.9	20.6	3.8	3.5	15.2	48.3	48.0	68.4	69.5	38.2	52.0	45.5	49.1	1.4	19.7	40.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図 30 資本財四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

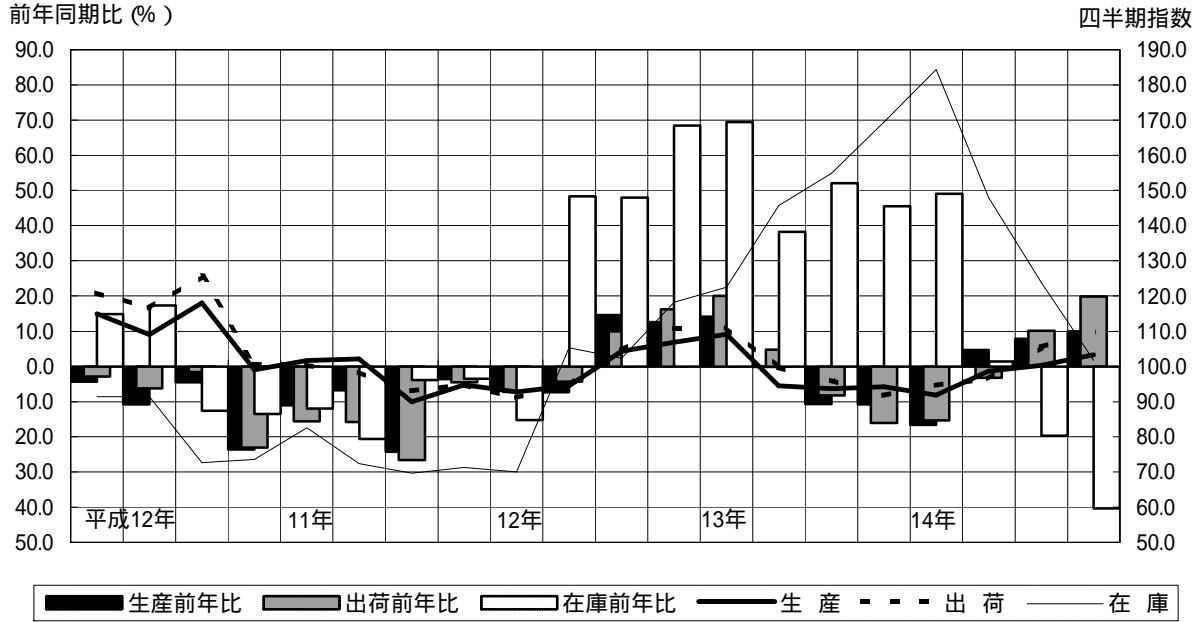
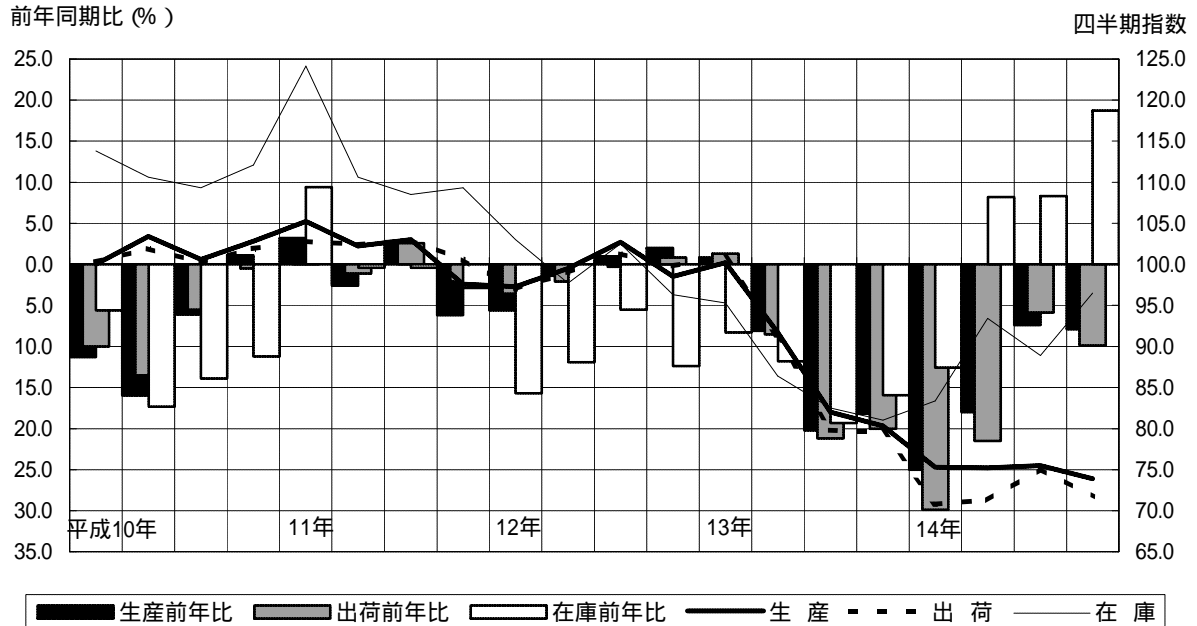


表 51 建設財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	100.0	103.4	100.6	102.8	105.2	102.2	103.0	97.6	97.3	99.5	102.7	98.5	100.2	91.7	82.0	80.3	75.3	75.2	75.5	73.9
出荷	100.3	101.9	100.2	101.9	102.8	102.4	102.9	100.6	97.0	99.0	101.3	99.8	100.8	91.1	79.8	79.6	70.8	71.3	75.1	71.7
在庫	113.8	110.6	109.3	112.1	124.1	110.6	108.5	109.3	103.0	97.7	102.5	96.3	95.3	86.4	82.5	81.0	83.4	93.4	88.9	96.5
生産前年比	11.3	16.0	6.1	1.1	3.2	2.6	2.5	6.2	5.6	1.4	1.0	2.0	0.8	8.1	20.2	18.2	25.0	18.0	7.4	7.9
出荷前年比	10.0	13.5	5.5	0.5	0.2	1.1	2.6	2.1	3.6	2.1	0.3	0.8	1.3	8.5	21.2	20.0	29.9	21.5	5.9	9.9
在庫前年比	5.6	17.3	13.9	11.2	9.4	0.4	0.4	2.9	15.7	11.9	5.5	12.4	8.3	11.8	19.3	15.9	12.6	8.2	8.3	18.7

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図 31 建設財四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## ウ 消費財

平成14年の消費財の生産指数（原指数年平均）は、耐久消費財が84.4で前年比2.2%、非耐久消費財が94.2で同4.2%とそれぞれ低下し、全体として91.5となり同3.8%の低下となった。

出荷指数（原指数年平均）は、耐久消費財が88.0で前年比0.7%と上昇し、非耐久消費財が94.5で同4.3%と低下し、全体として92.6となり同2.9%の低下となった。

在庫指数（原指数年平均）は、耐久消費財が99.2で前年比1.5%と低下し、非耐久消費財が116.2で同2.8%と上昇し、全体として109.5となり同1.3%の上昇となった（表46）。

消費財の季節調整済指数を四半期別にみると、生産指数は1期から4期まで低下を続け、4期で4期ぶりに上昇した。出荷指数は1期で上昇したが、2期、3期で続けて低下したのち、4期で再び上昇した。在庫指数は1期、2期で上昇し、3期、4期で低下した（表52）。

表52 消費財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	90.8	92.3	95.6	95.3	99.6	101.7	101.6	97.1	93.6	102.0	102.7	99.7	97.0	95.0	93.6	94.7	94.1	93.4	88.9	90.3
出荷	90.1	89.2	94.9	95.7	98.5	101.5	102.9	95.2	92.3	101.9	104.1	100.1	98.0	96.3	93.6	94.2	96.0	93.2	89.7	92.4
在庫	110.5	120.0	126.6	104.0	103.6	89.4	88.5	96.7	93.1	101.4	98.7	104.5	104.3	111.7	112.9	103.5	109.8	117.0	109.9	101.6
生産前年比	3.0	0.3	8.9	5.9	9.5	10.0	7.4	1.5	4.3	0.2	1.3	2.4	2.1	6.9	8.7	5.0	3.8	1.7	4.6	4.7
出荷前年比	2.8	2.2	10.0	8.9	9.3	13.9	9.6	0.6	4.8	0.2	1.3	4.2	4.3	5.6	9.8	5.8	2.9	3.2	3.6	2.0
在庫前年比	2.8	13.8	20.5	4.3	7.6	25.3	30.2	8.3	9.5	15.1	12.6	8.5	9.3	11.1	14.3	1.4	5.1	5.3	2.8	1.8

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

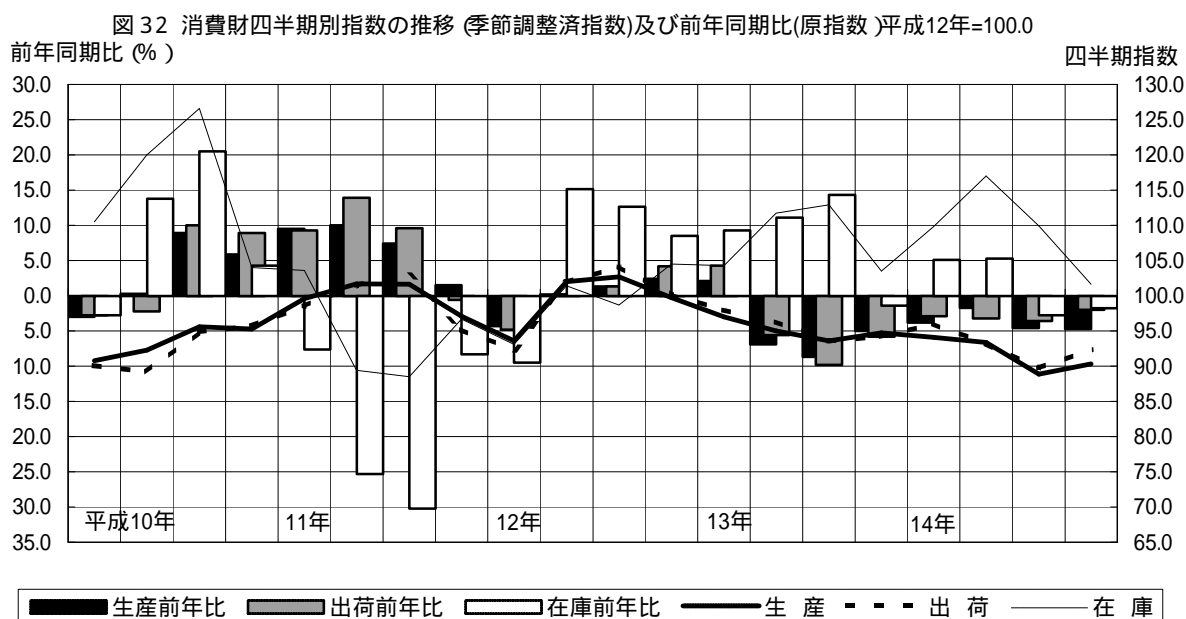


表53 耐久消費財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	68.1	68.0	84.0	92.2	91.8	104.8	101.2	87.4	95.2	101.9	105.7	94.1	91.1	82.3	82.5	90.2	87.8	86.0	77.2	88.7
出荷	68.5	66.2	84.2	89.7	88.3	101.7	106.2	85.9	90.7	100.3	107.1	98.3	93.6	84.0	83.9	89.5	91.6	86.2	80.2	96.2
在庫	89.8	92.6	74.3	75.6	76.6	74.2	84.4	82.9	89.3	98.3	102.2	108.2	95.4	103.6	103.9	99.9	104.4	102.1	101.9	89.4
生産前年比	3.1	3.8	54.7	39.2	34.0	54.2	24.6	5.5	4.7	2.8	5.1	7.3	7.0	19.2	21.9	4.3	4.6	4.2	5.9	2.0
出荷前年比	4.5	3.4	54.3	35.9	28.3	53.9	30.1	4.7	4.3	1.5	1.6	13.5	0.6	16.3	21.8	9.2	3.0	2.6	4.2	7.0
在庫前年比	21.9	3.2	23.0	16.6	16.6	19.7	15.1	8.7	16.8	34.0	23.3	29.9	4.5	6.0	2.6	7.7	8.4	1.5	0.9	10.7

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図 33 耐久消費財四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

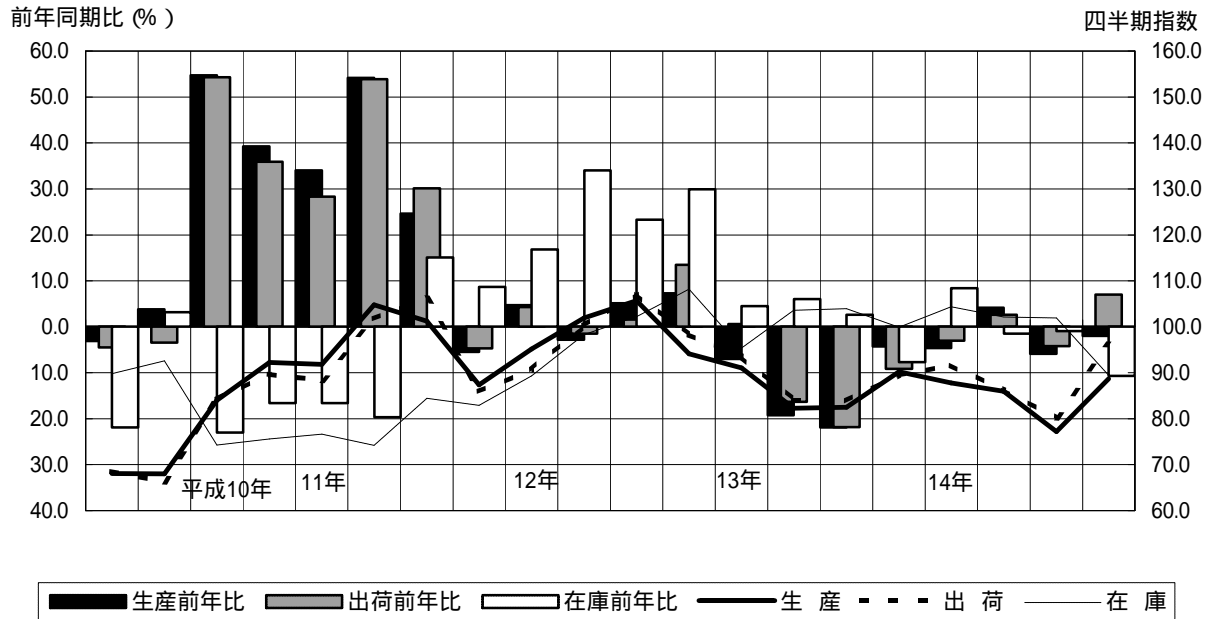
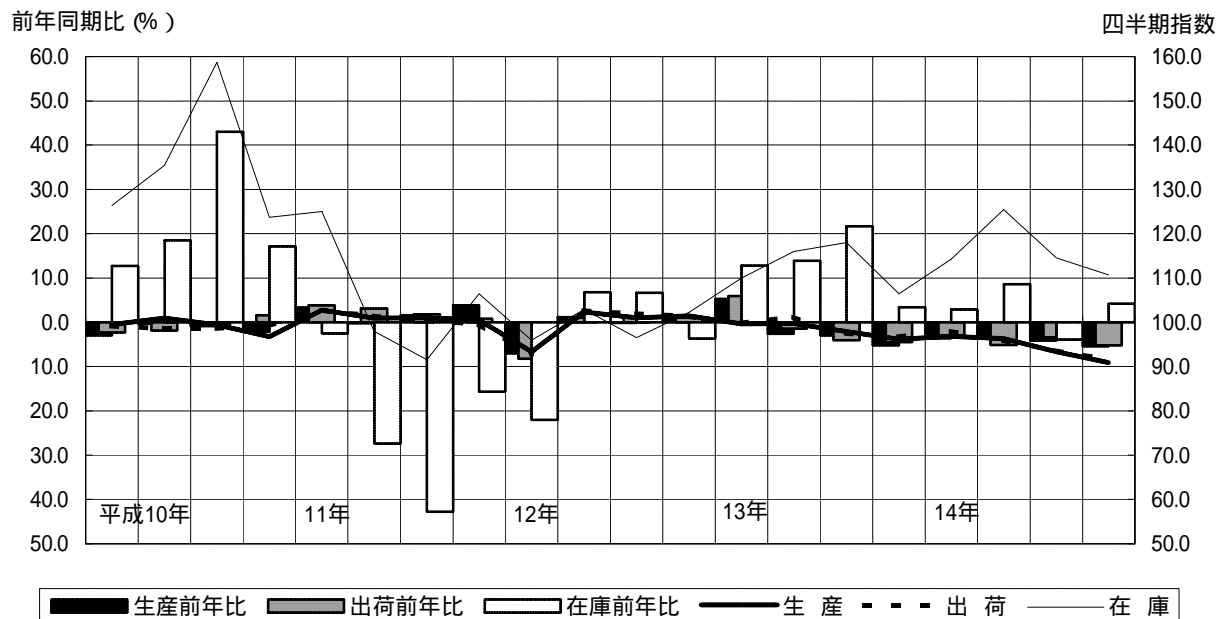


表 54 非耐久消費財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成 10 年				平成 11 年				平成 12 年				平成 13 年				平成 14 年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	99.5	100.9	99.4	96.7	102.8	100.9	101.0	100.5	93.4	102.3	101.0	101.5	99.6	99.7	97.9	96.2	96.8	96.3	93.4	90.9
出荷	99.2	98.5	98.6	99.2	102.7	101.4	100.3	99.6	92.8	102.6	101.9	101.3	99.8	101.2	97.5	96.7	98.0	95.9	93.6	91.5
在庫	126.4	135.4	158.7	123.7	125.0	98.0	91.5	106.4	96.0	102.9	96.5	102.2	110.0	116.0	118.0	106.4	114.2	125.5	114.5	110.7
生産前年比	3.0	0.4	0.9	2.2	3.3	0.2	1.6	3.9	7.0	1.2	0.1	0.8	5.3	2.6	2.9	5.2	3.6	3.4	4.1	5.4
出荷前年比	2.3	1.9	0.6	1.6	3.8	3.1	1.8	0.8	8.2	1.0	1.3	1.0	5.9	1.4	4.0	4.5	2.9	5.1	3.4	5.2
在庫前年比	12.7	18.5	43.0	17.1	2.5	27.4	42.8	15.7	22.1	6.8	6.7	3.7	12.8	13.9	21.7	3.4	2.9	8.6	3.9	4.2

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図 34 非耐久消費財四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比 (原指数)平成 12 年=100.0



## 2 電力・ガス事業の推移

平成14年の生産指数（原指数年平均）は、96.4で前年比0.4%と上昇した（表55）。品目別にみると、電力は前年比0.3%と上昇し、ガスは同1.4%と低下した。

季節調整済指数を四半期別にみると、期で平成13年期以来3期ぶりに上昇した後、3期連続で低下した（表56）。

表55 電力・ガス事業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

	生産		電力		ガス	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成10年	94.5	3.8	94.5	3.8	95.8	2.8
平成11年	104.2	10.3	104.2	10.3	97.7	2.0
平成12年	100.0	4.0	100.0	4.0	100.0	2.4
平成13年	96.0	4.0	96.0	4.0	100.5	0.5
平成14年	96.4	0.4	96.3	0.3	99.1	1.4

表56 電力・ガス事業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成10年				平成11年				平成12年				平成13年				平成14年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	92.6	87.8	97.9	100.5	110.4	98.1	106.5	101.3	101.3	105.2	85.8	109.5	92.9	100.3	96.0	95.4	104.6	100.6	97.8	82.1
生産前年比	8.7	12.5	1.8	4.4	20.5	13.2	8.4	0.0	7.7	8.0	19.6	6.7	8.6	3.9	11.4	13.2	12.5	0.9	1.7	14.6

生産指数は季節調整済指数、生産前年比は原指数の比

図35 電力・ガス事業四半期別指数の推移 (季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

